日伯新聞
伯國聖市マエストロ・カルゼン街一二九
ヴエルゲイロ間（二五八）
發行所日伯新聞社
本紙定價年九ミル
外國郵税共百ミル

Sr. Kobayashi Midori
R. Galvão Bueno, 407

東亞の禍根一掃

頑迷歐米に一喝

帝國の行動を直視し 須く新事態認識せよ

東朝、ワシントン體制を痛駁

（東京八日同盟）八日の東京朝日は『新事態を確認せよ』と題し次の如くワシントン體制の不當を指摘し列國の猛省を促してゐる

抗日容共を國策とする蔣政權を打倒して行く結果は支那に舊事態に變る新事態が發生し之れと日本が協力して新秩序を再建東亞の和平確立に努力するのは當然であらねばならぬ、歐洲の不安は現狀維持に釘附けせんとする不合理極まる條約をベルサイユ體制からもたらされた、如何にこれを鎮靜せんとしても變化發展して行く現實の前に拘束力を失ふ外はなかつた、英佛としても現實の前に獨伊と妥協したではないか、對獨媚和のベルサイユ體制とは東亞に關するワシントン體制とを同一視すべからざるは勿論だが、ワシントン體制そのものは云はゞ米國式對支觀念外交のイデオロギーに立脚して之を抽象的に法文化したものだつた、而も第一にこの體制を裏切つたものは支那であり且つ米國自身さへ、當然問題とされる場合に開却されたことも屢々であつた、兎に角ワシントン體制は日本に關する限り英米の制覇による東亞に於ける日本の發展に對する誓約であつた、ベルサイユ體制が復興ドイツによつて拘束力を失つた樣にワシントン體制が東亞の新事態の前に完全に用をなさなくなつたことは怪しむに足らない、ワシントン體制育ての親を以て任ずる米國が面子上これを固持する心情は諒とするも日本側の明確に指摘してゐる樣に東亞の新事態は日本としては死活の問題である、英米共他にとつては單なる利害の問題に過ぎない、過去の東亞は立遲れの爲列國の野望のまゝに扱はれ其の優越感を滿足することが當然であるかの如く錯覺されて來たのであるが更生新支那がこれを許さなくなつたのは當然であらう、列國は新事態を認識しようとしない限り東亞の回復は遲延し列國の期待とは益々背馳することは知るべきである

有害無益の存在 九國條約を葬れ

紐育ポスト紙の爆彈論調

【ニューヨーク七日同盟】ニューヨーク・ポスト紙は七日「九國條約時代後れ」と題する論説を掲げ、同條約は支那の現狀から見て有害無益だと左の如く論じてゐる

日本は九國條約をもつて時代後れだとしその廢棄を率直中なる旨示唆したが、實際その通りだ、米國は日本の廢棄聲明を待つ迄もなく自ら進んで脱退を宣言した方がよいだらう、何故ならば東部海岸地方を始め重要都市全部を日本軍に占領された現在の支那に（領土保全）が存するわけがなく目的物を失つた九國條約が時代後れとなつたことは言を俟たない、現在の支那に九國條約の所謂領土保全ありと殊更に主張するのは事實を直視せざるものであり第三國にしてこのありもせぬ領土保全を或は如何なるものにしろ支那のために保障せんとするに至つては愚も甚だしいものである、九國條約は既に死文となつたと言はざるを得ない、更に九國條約によつて保障されてゐる（支那に於ける權利）なるものも實を言へば支那を援助するために行使されたわけでなく、支那を搾取するために利用されたものである、所謂門戸開放も元來歐米諸國が暴力によつて支那に强制したものであることを內省せねば歐米諸國が極東に於て同條約の神聖を口にすることは出來ない筈だ、何れにせよ九國條約は國際聯盟と同樣現實の國際政治に於ては有害無益のものでかゝる現實に即せざる條約の存在こそ却つて國際不安を醸成するものであらう

わが空軍、再び長驅

四十數機銀翼連ね 湖南省衡陽を衝く

敗殘敵空軍に潰滅の猛爆

【漢口七日同盟】中支軍發表 七日敵戰鬪機の妨害を排除しつゝ敢行せる古林機の偵察により衡陽飛行場に敵機あるを認めた加村、久保木、佐世、服部各部隊四十數機は同日午後一時大擧〇〇基地を出發衡陽飛行場を襲ひ交々猛烈なる對地射擊と爆擊を加へ其の十六機を破壞し殲滅的打擊を與へたり、然して我に損害なく全機無事歸還したり

【〇〇基地八日同盟】我陸の荒鷲は七日午後秋晴の空を縫つて久しぶりに大擧敵空軍湖南西方衡陽飛行場を急襲、同地にあつた敵を一機も餘さず粉碎した、この日衡陽飛行場の偵察を命ぜられた古林機は單機よく敵戰鬪機の執拗なる攻擊を巧に避けつゝ任務を果して歸還すれば腕を鳴らして待機してゐた木村、久保木、佐世、服部各部隊は四十數機は非常に溫情のある取扱ひをしてくれるので民衆は日本軍入城前の漢口に比較して現在の方が遙かに幸福だと云つて反つて先を爭つて避難した人の身の上を案じてゐる位だ、街の狀態は野菜類、米肉とも相當多く物價も高くないので民衆は續々歸つてゐる、蔣介石が居た中央銀行防空設備附きの家等は贅澤極まるもので之れを以つて民衆のことを省みなかつたかゞ窺はれる、同時に我々は蔣を徹底的にやらなければならないと云ふことを痛感した

統一政權の樹立へ 一齊昂る民衆の聲

維新政府更に決意固む

【南京八日同盟】維新政府當局は第二次聯合委員會に刺戟されて一般民衆が速かに中央統一政府の樹立その他諸政革新を要望してゐる點に鑑み七日夕刻當局談として左の如く民意に副つて一段の努力をする決意を發表した

第二次聯合會並に六日各地で行はれた反共救國大會の結果、一般民衆の新統一政權樹立、諸政革新要望の聲は森然として起りつゝあり既に七十名の各地方代表は政府に對し

一、反共救國聯邦政府の樹立
一、國民會議の組織
一、臨時約法の設定
一、農村の復興
一、教育の革新

などを請願し來つた、政府としてはこの要望に應へるべく目下關係當局者に於て鋭意立案中でありその他必要を痛感してゐるものであるが既に農民銀行の設立などは目下關係當局者に於て鋭意立案中でありその他

皇軍の恩威に浴し 漢口市民安堵の胸

打倒蔣政權を語る

【南京七日同盟】維新政府交通部長江洪杰氏は政府並びに第二次聯合委員會を代表して皇軍慰問の爲六日飛行機で漢口に赴き七日歸京した、氏は記者團に對し漢口の印象について左の如く語つた

私は維新政府と第二聯合委員會の命を受けて日本軍の武漢三鎭占領に對する敬服と慰問に赴いたが漢口の狀況は日本軍が極めて神速に行動され且つ民衆に對しての諸項に對しても政府は民意に副ふべく一段の努力を拂ふ決心である

西南各省への門戸 俄然、廣州灣に移る

輸送船を頻りに增配

【香港七日同盟】廣東陷落以來西南各省への門戸は俄然廣州灣に移り最近香港、廣州灣間航路には從來就航してゐた四隻の外（內一隻は我軍に拿捕）更に六隻が增配され香港より廣州灣への日用品貨物輸送は頓みに激增を見てゐる、而して廣州港に陸上げされた貨物はトラックにより廣西省桂林經由衡陽長沙方面に輸送されつゝありと傳へられる

日伯漫談

須田町人

あらまあ領事館さんが妾達に娯樂機關とやらを下さるんですとさ、まあ嬉しいモシ〳〵そう早合點をしていけませんよ、手前は只領事館さんに考へときなさいと申しただけですよ、なんぼ領事館だつてよし來た樂まして嬉しがらせてやるそんな譯にや參りませんや

【第一】【御】【連中】 自らがどうしてコソ〳〵遊んだものだらふと頭をくだいてるほどですもの、人の遊び事など考へて居れるものですか、こりやまあ皆さん御自分で銘々に遊んで樂むことを

【工】【風】【なさる】 より外ど、永い間の歴史なり傳統を持つてる日本人ですもの、そう一足飛びに外國の眞似をして樂めるものじやどわせんから、それはそれとしておいて、差し當り日本流の遊び事で、手輕にやれるものは何でもやるのですなあ、長唄よろしい謡太夫大に結構ですなあ、浪花節あれなんさあ農村にや持つてこいですなあ

【三】【十】【一】【文字】 高尚でようがすなあ、手前ども風流の道はさつぱり解りませんが、運座の方が農村にや向いてるやうですなあ、その他フェスタの時にや芝居でも仁輪加でも手踊りでも何でもやるんですなあ、地方の青年會館などは硬軟兩方に使へるやうにして、成る可く皆が一緒に樂めるやうな仕組にするのですなあ、こんなことを申しますと須田町め自分が極道者だから遊ぶことばかり奬勵しやがる、怪しからんなんてお叱りを蒙るかも知れませんが、全く都會といわず殊に農村では御婦人方のお樂みと云つたら殆んどありませんや、且つタクの方は町へ出てビツショをかけて、當つたと云つては呑み、外れたと云つてはまた呑み、喰らひ酔つて歸つて來て女房を打ち打擲、これじや

【全】【く】【遣】【る】【瀬】 がごめせんよ、少しは樂をさせて悦ばせてもらわないじや生甲斐がごわせん、何なら一つ教育普及會あたりから落語家を派遣してもらふやうに運動するのですなあ、今丁度巡回教師を派遣する計畫をたてゝるそうですから、序に此の方も一つやつてもらへれば大に助かりますなあ、落語家だの講釋師だなんて世間じや馬鹿にさげしむ風ですが、仲々そんなものじやありませんよ、殊に植民地では緊苦しい修養談よりや

【卑】【俗】【な】【落語】 や講釋の方が解り易くて効能がありますさあ、どうもおエライ方は兎角物事を六ケ敷く考へ過ぎていけません、巡回教師と一緒に落語家を派遣するのが工合が悪けりや、これを藝術師と呼べばいゝでしやう、序に正何位動何等とまで行かなくとも、せめて高等官八等とでも行きや結構うつりますよ、イケねえ、とまで行かなくとも、せめて高等官八等とでも行きや結構うつりますよ、イケねえいけねえ、師匠そういふおめえさんに位階勲等をつけて御覽なさい、どんなもんだとおつしやるのですか、とりやてんから寫りませんなあ、これはほんの冗談ですが巡回教師の外に巡回婦士、まあ落語家みたいなものですが笑はせながら修養談でもやつて行く奴を派遣するのも一法でしやうなあ、ナニ手前に出ろといふのですか、滅相もない

【官】【選】【藝】【術】【師】

蔣の最後に梵鐘 國共抗爭愈よ激化

第五次全體會議に注目

【香港八日同盟】重慶來電によれば國民黨中央執行監察委員會第五次全體會議の召集期は中央常務委員會議の結果來る十二月十五日と決定、各地に召集狀を發した、右五中全會は手始めに自國民參政會々議に於て左右兩者の內部抗爭激化遂に宣言が行はれるか敢餘蔣政權斷末魔の悲鳴は頗る注目されてゐる

共產黨員の比較的少數な本會議に於て果して如何なる論議が行はれるか敢餘蔣政權斷末魔の悲鳴は頗る注目されてゐる

武漢攻略輝く戰果 敵の死傷十四萬餘

我奪き犧牲六千百餘名

【東京八日同盟】大本營陸軍部發表、其後判明せる武漢攻略戰の綜合戰果左の如し

河南省蘆州（八月廿一日）を出發より慨ね十月中旬まで敵遺棄死體四萬八百五十、捕虜一千五百七十、主要鹵獲品重砲五十九、野山砲百廿一、彈藥六百廿發、對戰車砲廿、追擊砲四百十八、歩兵砲八、重機關銃五十四、輕機關銃四百卅七、小銃六千八百、我が戰死（八月下旬より十月下旬まで）千六百四十七、揚子江方面（七月下旬九江上陸より慨ね武漢攻略まで）敵死體十萬二千八百、捕虜三千七百、主要鹵獲品重砲四十一、野山砲十、彈藥九千九百五十、高射砲十四、對戰車砲七十六、迫擊砲六十四、歩兵砲九十四、重機關銃三百十三、輕機關銃八百、小銃一萬四千八百廿、彈藥七百六十一萬、我戰死（七月下旬より十月下旬まで）四千五百六右合計敵遺棄死體十四萬三千六百五十、捕虜五千二百七十、鹵獲品重砲百、野山砲百卅一、高射砲十四、對戰車砲九十六、迫擊砲四百八十二、歩兵砲百二、重機關銃三百六十七、輕機關銃四百卅七、小銃一萬五千二百卅七、同彈藥八百廿九萬五千八百、我戰死六千百五十三名

陣中に軍旗祭

天晴れ武昌一番乘り

【武昌七日同盟】〇〇部隊は七日午前九時卅分から陣中軍旗祭を擧行、武昌一番乘りの武勳赫々たる軍旗を市街中央の東西に走る景勝の地蛇山々頂に打ち立て〇〇部隊將士は晴れ渡つた朝日に感激の面を輝やかしつゝ軍樂隊の奏樂裡に軍旗を捧持し過ぎにし激戰を偲んだ

自衛團を組織化し 廣東市內の治安へ

皇軍、平和回復に力瘤

【廣東八日同盟】廣東市內の治安は漸次回復し歸還者は既に十五六萬を數へるに至つた而してこの間の治安は我憲兵隊並に民衆自衛團の手によつて保たれてゐるが民衆自衛團は四十二ケ所約二千人を算し漸次治安維持會への結成を辿つてゐるので、軍當局では此處まで發展して來た同自衛團を至急組織化する必要上九日午後憲兵隊本部に各團代表者を召集、廣東市各區臨時自衛聯合會を開催することになつた、尙同聯合會の代表には國民革命軍第八路軍の參謀を勤めた蘆光于を推し組織は市內を廿五區に區分各區より代表一名を選出して合議制によることになつた

爲替

八日

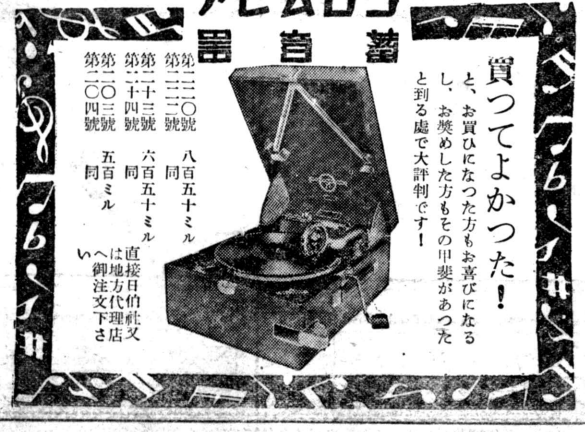
	公定相場	自由相場
伯英	八四、八九	九七、八〇
伯米	一七、七〇	二〇、六〇
日	——	四、七〇

カーザ東山
CASA TOZAN, LTDA.
Praça Mauá, 25 -- C. Postal, 911 SANTOS
Phones : 2105 e 2106 -- End. Teleg: "TOZN"

東山銀行
伯貨定期預金 一ケ年六分

サンパウロ事務所
Rua Florencio de Abreu, Ns. 74/76
Tels. 3-1141 - 3-1142 - 3-1143
取次所
Rua Conde do Pinhal, 120 - Tel. 2-3706
Caixa Postal, 528 -- SÃO PAULO -- End. Teleg.: "TOZAN"

リンス事務所
Av. Voluntario Rosalino Silva, 147
Caixa Postal, 11 -- LINS
Phone 240 - End. Teleg: "TOZAN"



BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(The Yokohama Specie Bank, Ltd.)
Rua da Candelaria N.° 23
Caixa Postal, 380 - Rio de Janeiro
切り取り手紙へ
⊙鄕里送金
新爲替管理令により內地向送金は一口四百ミル迄許可さるゝ事となりました、但し送金許可獲得には多少の遲延は免かれません
尙新令により特別稅として送金額の六分（六%）を「ブラジル銀行」へ納入せねばなりませんから送金額以外に六分（六%）の金額を加へ御送金下さい、特別稅六分（六%）御送金なき時は御送金金額中より差引き殘額內地向送金申上げる事と致します
⊙伯貨預金
定期預金六ケ月以上利率當分年三分五厘の割であります、外に當座預金、特別當座預金等御便宜御取扱ひ申上げます
横濱正金銀行
リオ・デ・ジヤネイロ支店

降か丶る火の粉

皇軍の南支攻略、武漢占領に最も大きな痛手を蒙つた英國は今や自家の崩壊に火がついた如き狼狽振りで最近帝國側の積極的政策に對しても米佛側に耳し其敵的氣勢を守つて來たが、裏面で事變擴大喰止めに必死の運動を續け、先頃來の和平說は悉く英國側から發してゐる有樣だが、今度はカー大使亀々支那軍前線に飛び蔣介石に講和方說得してゐると云はれる

【上海七日】UP發電】同地滯留中の王龍惠外交部長の進擊の手を緩めず更に湖南攻略を續け要衝岳州は今明日首都長沙占領も既に時間の問題となり、蔣政權の運命日々に縮まり結局皇軍に屈服する外ないと見られるが、かゝる情勢に對し又々英國側の和平調停說が傳へられるに至つた卽ちカー英國大使は昨日飛行機で昆明に急行、次いで沅陵に向を發したと云はれる、カー大使はなほ香港出發に先立ちよれば武漢攻略後も皇軍はその他國府側要人とも會談してをり、一方クレーギ駐日大使も日本政府と絕えず折衝を續け停戰の可能に付懸命の努力を拂つてゐる、これ等の事實は英國政府が皇軍の南支攻略によつて香港始めその他權益が今や破產の危機に直面せるため今や躍起その喰止めに努め、カー大使を通じて蔣介石に强力な壓力を加へその說得に大奮となつてゐるものと推せられる、傳へられる所によれば蔣介石はカー大使は蔣にして日本の要求を容れればその地位を保障、和平調停を斡旋するとまで述べ蔣を說得せんとしてゐると云はれるが、蔣介石は最近刻々増大されるソ聯側の援助を恃み西部數省を保つ限り更に抗戰繼續の意志だが、何れにせよカー大使の訪問によつて蔣の態度は明かにされこゝ數ケ月で和平成立の見込みが生ずるのではないかと見る向も少くない

堪まり兼ねた英國側
蔣介石の說得に大童
カー大使、支那軍前線に出張

先づ近衛首相より問題の國家總動員法の全面的發動準備に關して發言をなした後、議會制度審議會の議院制度改正に關する答申案に付き鹽野法相永井遞相、二、三の閣僚より正副議長の地位向上に關して質問あり、これに對し舟田法制局長官より說明を加へ更に有馬農相より國內必需農產物軍需農產物、輸出農產物等の生產確保增進のため農具、肥料等農業生產資料に付き今後一層計畫的生產配給の方針を樹立實行したき旨の說明をなし、これが爲第二豫備金支出八千圓、農林省本年度豫算復活百六十九萬五千圓を承認に決定、最後に板垣陸相より最近の戰況報告あり十一時廿分散會

國府唯一の金融路
佛印を通じ實現か
愈よハノイに支店開設

【ハノイ八日同盟】漢口、廣東陷落後國府は輸送路のみならず金融上に於いても外國銀行との連絡を斷たれた結果金融路の收拾も殘された唯一の地に中國銀行支店を開設することゝなり目下工事中で近く開店の運びである、これが開設の曉は曾つての香港が國府の金融政策上に占めた位置が徐々にハノイへ移行する結果を齎すべく其の活動は注目される、尙ほ佛印と支那との交通は益々頻繁を極め廣東陷落後多數避難民が流入した外昆明、ハノイ間歐亞航空會社定期航空路は週一往復を週二往復に增加された

天候不良のため
訪日機出發を變更
東京着は十二日午後

【ローマ七日同盟】スタンバシヤの訪日親善機サントフランシスコ號は七日午前一時出發の豫定であつたが天候不良のため八日午後十一時出發に變更したが東京着は東京時間で十二日午後か十三日午前の豫定である

新政權樹立工作
只管具體化へ驀進
主席も既に內定か
ソ聯の蔣援助など手後れ

【上海七日UP】過般は支那唯一の眞の友邦たるソヴエットと孫逸仙の對ソ根本平說が報じられねばならないと今なほソ聯がこれに對し歐洲の危機去つた今日支那側要人は支那唯一の眞の友邦たるソ聯の援助なと尚牙にもかけぬは勿論である、日本は既に支那中央新政府樹立工作を着し支那側要人は支那唯一の眞の友邦たるソ聯の援助なと尚牙にもかけぬは勿論である、日本は既に支那中央新政府樹立工作を着し支那側要人は支那唯一の眞の友邦たるソ聯の援助なと尚牙にもかけぬは勿論である、日本は既に支那中央新政府樹立工作を着手進捗せしめつゝあり主席は吳佩孚を推すものと傳へられてゐる

【上海七日同盟】過般は支那唯一の眞の友邦たるソ聯の援助なと尚牙にもかけぬは勿論である、日本は既に支那中央新政府樹立工作を着手進捗せしめつゝあり主席は吳佩孚を推すものと傳へられてゐる

獨立國として飽くまで抗戰は續行する積りだ、そのために來英國方面から日支和平說が報じられねばならないと今なほソ聯がこれに對し歐洲の危機去つた今日支那側要人は支那唯一の眞の友邦たるソ聯の援助なと尚牙にもかけぬは勿論である、日本は既に支那中央新政府樹立工作を着手進捗せしめつゝあり主席は吳佩孚を推すものと傳へられてゐる

後ソ聯は對支援助に幾分力は入れようが既に南支攻略、漢口陷落、今や湖南省席捲しつつある日本軍に取つて今更ら吳佩孚は既に一年前より北京に日本軍の保護を受けてゐたものだが今後なほ新政府樹立確立までには日本軍は保護を加へるものと見られる、新政府樹立された曉は日本は滿洲國同樣不侵略條約を締結するといはれてゐる

國民の農業理解には
文學、演劇が重大役割
農民文學懇話會誕生

【東京八日同盟】有馬農相の肝入で創立準備を進めてゐた土の作家の集り、農民文學懇話會は七日午後五時から丸ノ內中央亭で愈よ孤々の聲を擧げた、出席者は農相、農相令息賴義君始め中村星湖、島木健作、和田傳、間宮茂輔氏以下三十數名で先づ和田氏の開會の辭があつて中村氏司會者となり、會の規約及び今後の活動方針を決定、次で年一回農相から出る農民文學賞の授與方法や會報、會合等に就いて協議した、席上有馬農相は日本に取つて農業はその榮枯は直ちに國家の盛衰ともいふ大きな問題である、國民の農村に對する理解は農村進行の原動力となる、國民の理解を涵養する最も直接的なものは文學、演劇であるとして今回の成立の意義があり「從來の作つた國策」の不合理を訂正して「生れ出た國策の原動力」が有るのだから一層奮起されんことを望む

と激勵八時過ぎ散會した

及川司令長官へ
自作の大日如來像
元金剛艦長池中少將が贈る

【東京八日同盟】元金剛艦長同氏は去る七月立派な備州檜池中健一豫備少將は豫ねて及川支那方面艦隊司令長官に贈るべく自から鑿を取つて大日如來像を彫つてゐたが四ケ月半の日數を費しこの程漸く完成、八日音羽の護國寺で開眼供養を營み愈よこの友情の大日如來は飛行機で及川提督の下に送られることゝなつた、

【東京八日同盟】元金剛艦長同氏は去る七月立派な備州檜池中健一豫備少將は豫ねて及川支那方面艦隊司令長官に贈るべく自から鑿を取つて大日如來像を彫つてゐたが四ケ月半の日數を費しこの程漸く完成、八日音羽の護國寺で開眼供養を營み愈よこの友情の大日如來は飛行機で及川提督の下に送られることゝなつた、

山泰堂アトリエへせつせと通ひつめ一心に鑿を彫り進めてゐたもので、この間戰地にある及川提督からは完成の曉は座右に安置して戰浸傷士の冥福を祈りたい旨の感謝の手紙がよせられてゐた

中支水產事業
愈よ軌道へ
日支合辦の大會社誕生

【上海七日同盟】日支共營による中支水產事業は既に去る七月廿五日上海魚市場組合が資本金十萬元をもつて組織され柳樹浦に魚市場を開設して水產場の賣買を行ひ共の業務も漸次發展の道を辿つてゐるが、更に中支水產事業全般にわたる日支合辦の大水產會社が中支振興會社の子會社として設立計畫進捗、六日上海に於いて創立總會が行はれた、其の名稱は華中水產株式會社であつて內容は左の通りである

講道館の後繼者
南鄕少將に決定
荒鷲の父二代目館長

【東京八日同盟】柔道界の大本山講道館は嘉納治五郎翁の後財部海軍大將が館長代理として今日に及んでゐたが、その後館長としての適任者を詮衡して推薦すべくより〳〵講道館役員の間に協議を重ねた結果、理事の間で南鄕次郎海軍少將を推薦することになり近く維持委員會を開いて滿場一致の推薦で二代目の館長を戴くことに成る校樣である南鄕少將は南昌上空の花と散つた海の荒鷲茂章少佐の嚴父で故嘉納翁の女婿、今は既に退役となり悠々自適してゐる

が、五十七年の歷史ある講道館の後繼者として豫てからその出馬を要望されてゐたものである

獨大使館書記官
兇漢に狙擊さる
犯人はユダヤ系波蘭人

【パリ七日ロイテル】七日午前一前九時半パリのドイツ大使館にドイツ語を話す一人のユダヤ系ポーランド人が訪ね、重要書類を持參して來たとてフオン・ラト書記官の室に通されたが、同書記官に持參の書類を渡すや矢庭に書記官に向つて「ユダヤ人を排斥するドイツ人に復讐する」とてピストルを二發射つた、ラト書記官は肩と肝臟部に二發の彈を受け其場に昏倒急變はない模樣だが極めて重態である、犯人は書記官の卽倒を見るや逃亡を謀つたが直ちに捕へられたが、同書記官は重傷を負ふて附近の名醫ポ澤氏が突如駐佛獨逸大使館內に闖入居あはせたフオン・ラト書記官に拳銃彈二發を發射、肩及び腹部に命中し同書記官は重傷を負ふて附近の療養所に擔ぎ込まれた、犯人は獨逸からユダヤ人が放逐されたのに對して、復讐せんとしたものだと陳述してゐる

入澤達吉博士

【東京八日同盟】醫學博士東大名譽教授入澤達吉氏は腎孟炎のため十月以來帝大病院臭內科に入院加療中だつたが腦溢血を併發八日午後逝去した享年七十四、博士は新潟縣出身東大醫學部を卒業獨乙に留學後明治三十五年東大教授となり爾來大正十三年の退職まで二十八ケ年の長きに亘つて講座を擔當して入澤內科の名聲を馳せ大正十三年六月侍醫頭に任ぜられ、昭和二年九月これを辭し親任官の待遇を賜はつた我が內科醫學の權威者である

講談社新社長
野間恒氏逝去

【東京八日同盟】大日本雄辯會講談社新社長野間恒氏は小石川の自邸で病氣療養中であつたが七日午後五時八分遂に逝去した、享年三〇、氏は故野間清治氏長男で劍道達人として天覽試合に優勝、今年五月武德會から敎士の稱號を授與されてゐた

東洋一の主婦之友
ブラジルの皆樣へ急告!
『主婦之友』が本國からはる〳〵海を越えて只今到着いたしました。今度の九月號は赤素晴しい貴重な記事を滿載!せひ讀まねばならぬ大問題の記事ばかり!
▲板垣陸軍大臣の家庭座談會 ▲空の軍神南鄕少佐の生ひ立ち ▲上海で空襲を受けた經驗者達の家庭防空法發表會 ▲吉屋信子女史の海軍飛行場訪問記 ▲川口松太郎先生の銘後小說『軍刀』など殊の外大評判で、流石東洋一の『主婦之友』でないと、これだけの記事が集まらないと內地でも大センセイションを捲き起してをります。大評判の『主婦之友』見逃すと大變!賣切れぬうち、一刻も早くお求めくださいませ。
躍進九月號本日到着 早覽ください!
購讀法
★お近くの郵便局へ今直ぐお申込みになられます、賣切れます
★書店へ御予約の方は直接東京の本社へ御註文ください
★一年分十六圓五十錢(送料共)です
東京 神田 主婦之友社

肥沃な郊外の土地提供!
▼場所 イツヴ、ジンジヤイ驛より二九キロ、カブリユーバ町より五キロの地點
▼面積 一千域の內第一回二五〇域提供(現在日本人數家族居住)
▼地主 辯護士(コチア產業組合員)ドツトル・ジユオンビツクウド氏
▼契約 三ケ年(自一九三九年至四一年)
▼條件 面談の上資金貸與にも應ず、希望者はコチア產組 西村へ

御下宿
ガルボンブエノ街 四九七 鈴木

募集
チンツラリヤ經驗者及び無經驗者各一名
右御希望の方は御來談下さい
聖市ルアアベニーダ ボンベイア八三三 根岸

Dr. R. Uchida
Pres. Prudente
醫學士 內田利藤次
プ・プルデンテ市マノエルゴウラルテ街七六
電話 郵函 二五〇番 四八〇番

Bar e Café BRASIL
コーヒ、ミンガウ、チヨコレート
洋酒一切—夜通し開けて居ります
ブラサ・ダ・セ二〇(玉屋前)

難病者來れ!!
田上鍼灸療院
パ延長線ベーラ・クルース市

FOTO Kojima DUX
ラルゴ・テゾーロ廿一ノ三階
ドツクス寫眞館
兒島末男
電話 二二七五八七
自宅電話 三二一七六二

越中富山
藥名 FURUSAN
ねかつぜ
フルーサン
伯國支店
長森聖榮堂
Rua Bueno de Andrade, 261
C. P. 4128 - São Paulo

PARA O CALOR?
SÓ AS AFAMADAS ROUPAS DE LINHO AO PREÇO FIXO
FABRICAÇÃO PROPRIA PREÇOS BARATOS!
暑さには評判のよい麻洋服で
特別仕立
極く安!!

DIERBERGER & CIA.
Rua Libero Badaró, 499 e 501
Caixa Postal, 458 - S. Paulo
種物、野菜、花、苗木其他
當店種子は嚴撰確實正統系のものであります、歐洲より優良種子入荷、當商會の種子は絕對發芽優良で農業振興局より證明書を受けて居ります
尙當商會には裝飾用花や果樹植付技師が居り又各種植付用具、藥品、養蜂部があります
【日本文カタログ無代進呈】

ついまで續く？かく

果知れぬ列強の軍擴
軍事費は八年間に五倍
激增の旗頭はソヴエット

世界諸列強など全く無視して國費の大部分は軍事費としてゐる文他の一方は佛英米の三國民主々義國家で平和を渇望しつつも全體主義國家に引きずられてゐい、戦つて斃でも全體主義國家に對立して兵器新發明に製造能力擴大に又兵員整備に狂奔してゐる、いま列強の軍擴動靜を見るにこれを二つの方向に分けて見ることが出來る、即ち一方は共産黨とファシスト全體主義國家でこれらの國々は極秘裡に國民の財政狀態

國名	一九三一	一九三八
北米大陸	六九、六〇〇、〇〇〇	一、一三三、〇〇〇、〇〇〇
アメリカ	六七、八〇〇、〇〇〇	一、〇五五、七〇〇、〇〇〇
中南米大陸	一五七、〇〇〇	一九〇、〇〇〇
歐洲大陸	二、四四八、〇〇〇、〇〇〇	一四、三二一、四〇〇、〇〇〇
イギリス	四六、一〇〇、〇〇〇	一、〇九二、一〇〇、〇〇〇
フランス	二九、三〇〇、〇〇〇	一、六四三、三〇〇、〇〇〇
ドイツ	三三、五〇〇、〇〇〇	四、四〇〇、〇〇〇、〇〇〇
イタリー	二〇、六〇〇、〇〇〇	五三六、〇〇〇、〇〇〇
ロシア	二八、五〇〇、〇〇〇	五、四〇〇、〇〇〇、〇〇〇
中歐及バルカン	四四、一〇〇、〇〇〇	五〇〇、〇〇〇
東亞	三〇、〇〇〇、〇〇〇	六、〇〇〇、〇〇〇
日本	四九、七〇〇、〇〇〇	三、〇五六、九〇〇、〇〇〇
支那	一九、一〇〇、〇〇〇	一、七五五、三〇〇、〇〇〇
其他	四、〇〇〇、〇〇〇	九五、三〇〇、〇〇〇
世界計	一七、七〇〇、〇〇〇	二〇六、三〇〇、〇〇〇
世界計	三、六三、七〇〇、〇〇〇	二七、五八二、三〇〇、〇〇〇

右表によれば僅か八年間に世界各國の軍事費は一躍五倍に激增の旗頭はソヴエットで一九三二年度の實に二十倍、これに次いで獨逸が十五倍、イタリーは比較的增加額は低いがこれは一九三二年既にイタリーの軍備が必要以上に充實整備されてゐたためである、三位は日本で右諸國同期間に二倍となつてゐる、一方又民主々義諸國も全體主義國に比すれば後れ脚せど乍ら軍事費の飛躍的增加は華やかで英米佛各國負けず劣らずの位置を保持してゐる

隨筆
在りし日の梅谷さん
（2）
チエテ　輪湖俊午郎

梅谷さん牛に突かる

これはチエテ移住地踏査の一挿話で、或時チエテの名瀑イタプーラを經てパラナ本流に懸るウルヴブンガの瀧を觀察したことがある。こゝに至る途中にサルチーニョと俗稱する小瀧があり、此一帶は水流けわしく瀧壺は深く、奇岩露出して淑木の枝振り面白く誠に拾て難き形勝であつた。この川はパラナ大河の分流で向側は一つの細長い島となつてゐる。こゝへ着いたのは午前中であつたが、今日は此瀧で釣を試み大魚を燒いて腹皷を打たうと一決した。一行は梅谷さん、地主ジョーナス氏陣をきつた彼等は、鼻を鳴らの外に私を初めアリアンサの弓場勇君外數名と云ふ賑やかさであつた。さて釣を初めて見ると、馬鹿な魚と見えて食ひ付くは〳〵。針を投込むと喰ひつく。針金の釣糸は喰つて水面に飛ぶ。魚は力强く一ひきひいてアチラに走りコチラに走る。立臼の如き梅谷さんもチリ〳〵と水際に引かれ竿は弓の樣にまがる。さて午後になつた。釣も飽いて一休みしてゐると、向ひの島から角笛の音が聞え、地響きを立て現はれた。「オイ輪湖君、あの牛はこちらへ渡るのかね」「え、見てゐて御覽なさい、今に泳いで來ますよ」角笛の音が止むと、ホー、ホーのかけ聲と共に水先案内ともおぼしき人數頭の牛を追ひ込んだ。先陣をきつた彼等は、鼻を鳴らしつゝ激流を泳ぐ。暫くこれを見つめてゐた大群に、頃やよしと牛追ひが、一鞭空を拂へば孰れおとらずザンブとばかりに飛び入る。「見事〳〵」と梅谷閣下は仰せらるゝ。」約一時間にして牛の大群は急流を渡り終へたが、最後に殘つた一頭の牡牛、つけども押せども渡らばこそ。止むなく角で泳いでゐた。人を見すして曠野に育つた之等マットグロッソの牛の群は離れると氣が狂ふと云ふ。正にソレである。ソの眼の色の氣味惡さ、牛の泳ぎ着いた岸は砂山になつてゐた。此時梅谷さんとジョーナス氏と私の三人は激流の中に突出した岩ばかりの牛島に腰をおろして見物してゐた。牛は意外と云ふ風で頭を左側に轉回するや眼に入つたのは私等三人のもである。此野郎とでも思つたのか尾をあげ角をかさして驀進して來た。それは誠に瞬間であつた。氣がついて見ると、ジョーナス氏も梅谷さんも消へて見えぬ。荒牛は遙か彼方の激流を泳ぎ守つてゐた。この牛島の一部でものゝ三、四十メートルも隔つた岸に一隻のガソリンチがあり、其舟には男裝した小意氣なパラガイ娘と他に仲の牛がスルスルッと砂山をかけ上つたかと思ふと立ち止つてこちらを見下した。牛とパラガイ娘との距離三、四十間、パラガイ娘の赤い首卷を暫く眺めつゝ、何と思ひけん右の牛は角をかざして一目散に小山を驅け降り件の小舟へ突きかけた。男裝の小娘は悲鳴を擧げた。その聲に驚いたのか不思議にも猛牛は小舟へ一トと云ふ。正に巧に立ち止つの前面に於て足の遺族に給せられたのであるが何分にも屯田兵の遺族に給せらるべき順位に在る遺族に在りては當該遺族及其の他の遺族に之を給せず

一、恩給法に依る年金たる恩給（屯田兵の服役事項を含むものに限る）を給せられたる者

二、舊刑法の重罪の刑に處せられ又は六年の懲役若は禁錮以上の刑に處せられたる者

前項の遺族と稱するは元屯田兵の妻、子、父、母、孫、祖父、祖母及兄弟姉妹にして略和十二年四月一日に於て救恤金を給せらるべき元屯田兵と同一戸籍（昭和十二年四月一日前に死亡したる元屯田兵の遺族に於ては當該元屯田兵戸主なるときは其の家を相續したる戸主、戸主に非らざるときは其の死亡の當時當該元屯田兵の屬したる家の戸主又は其の家を相續したる戸主と同一戸籍以下之に同じ）内に在る者を謂ひ救恤金を給すべき順位は本記載の順序に依り同順位内に在りては男は女に、長は幼に在り先つ但し元屯田兵の家督相續人は同順位内に在りては最先とす、昭和十二年四月一日に於て胎兒たる子出生したるときは前項の規程の適要に付ては昭和十二年四月一日に於て其の戸籍内に在りたるものと看做す

前項第二號の場合に於て次順位者なきときは其の刑の執行を終り又は其所在分明となりたるときは之に救恤金を給す但し第十二條に規定する期日迄に出願せざるときは此の限りに在らず

第五條　本規程に依り救恤金を受けんとする者は左記書類を具し元屯田兵村を其の區域とする市町村長（以下之を元屯田兵市町村長と稱す）の履歴に關する證明（第三書式の例に依る）を得（第七師團長を經て陸軍大臣に願出づべし

一、願書（第一書式）

二、履歴書（第三書式）

三、戸籍謄本（屯田兵として移住當時より出願當時に至る迄の出願者の身分關係を明瞭にし得るもの）

四、第三條第一號に該當せざる者なる旨の申立書（第四書式）

第六條　前條に規定する履歴書の作製に要する資料にして屯田兵の服役に關するものは元屯田兵市町村長を經て第七師團長に其の下附を願出することを得

第七條　出願後救恤金未だ給せられざる間に於て出願者死亡したるときは出願者元屯田兵の場合に在りては其の遺族より、出願者遺族の場合に在りては次順位者より左記書類を具し元屯田兵市町村長及第七師團長を經て陸軍大臣に願出づべし

一、願書（第二書式）

二、戸籍謄本（死亡したる事實を證明するに足るもの）

三、刑罰を受けたる事實の有無に關する本籍地の市區町村長の證明書

第八條　第七師團長は第五條及前條の書類を受理したるときは之を調査し救恤金給與の資格ありと認めたる者に付ては計算書（第五書式但し第七條の場合は之を要せず）を附し其の他の書類を付ては意見を具し陸軍大臣に進達すべし

第九條　陸軍大臣に於て救恤金を給すべき資格ありと認めたるときは第七師團長及元屯田兵市町村長を經て救恤金辭令書及救恤金請求書を本人に交付す

第十條　救恤金辭令書の交付を受けたる救恤金請求書に現住地市區町村長より正當の受給者たる證明を受け陸軍省經理局主計課に差出すべし

第十一條　救恤金は陸軍省經理局主計課より本人に交付するものとす

第十二條　本規程に依る救恤金は昭和十三年十二月三十一日迄に願出でざるときは之を給せず

第一書式（用紙美濃版）

元北海道屯田兵救恤金給與願

元屯田兵村　何　元屯田兵　某

昭和十二年陸軍省告示第二十四號元北海道屯田兵救恤金給與規程に依り救恤金給與相成度證據書類相添へ此段願出候也

本籍　何府（縣）何市區（郡）町（村）番地

現住所　何府（縣）何市區（郡）町（村）番地

元屯田兵　某　㊞

（元屯田兵某續柄）

昭和　年　月　日

陸軍大臣　某殿

第二書式（用紙美濃版）

元北海道屯田兵救恤金給與願

元屯田兵　村　何　元屯田兵　某

昭和　年　月　日

陸軍大臣　某殿

（元屯田兵某續柄）

第三書式（用紙美濃版）

元屯田兵村　何　元屯田兵　某

履歴書

昭和　年　月　日

陸軍大臣　某殿

（元屯田兵某續柄）

第四書式（用紙美濃版）

元屯田兵村　何　元屯田兵　某

昭和十二年陸軍省告示第二十四號元北海道屯田兵救恤金給與規程に依り元屯田兵某（元屯田兵續柄某）救恤金給與出願中昭和何年何月何日死亡致候に付同告示第七條の規程に依り救恤金給與相成度證據書類相添へ此段願出候也

本籍　何府（縣）何市區（郡）町（村）番地

現住所　何府（縣）何市區（郡）町（村）番地

前出願者某續柄　某　㊞

昭和　年　月　日

陸軍大臣　某殿

第五書式（用紙美濃版）

元屯田兵村　何　元屯田兵　某

年月日生　某㊞（元屯田兵死亡の場合は印を要せず）

元屯田兵某續柄　某㊞

年月日生（求者なるときは本記事は之を要せず）

	現役	計	豫備役	計
第一代服役者	自明治　年月日	年月日	自明治　年月日	年月日
第二代服役者	至明治　年月日		至明治　年月日	
第一代服役者	自明治　年月日	年月日	自明治　年月日	年月日
第二代服役者	自明治　年月日		自明治　年月日	

一、刑罰

何（無）

（元屯田兵以外の者受給者として出願するときは出願者自身の刑罰をも記載するものとす）

一、兵役相續記事

無

（兵役相續に付ては其の事情を詳記するものとす）

右相違なきことを證す

何町市村長　豫備役　某㊞

右相違なきことを證す

第七師團長　某㊞

申立書

元屯田兵村　某㊞

（元屯田兵某續柄）

某殿

第五書式（用紙美濃版）

計算書

一金	圓	氏名	某
元屯田兵村	何	何圓	
服役年	何年	何圓	

服役内譯

現役	豫備役	豫備役の換算せるもの	計

第一代服役者　第二代服役者　通算せるもの

右證據書類に依り計算候也

昭和　年　月　日　第七師團長　某㊞

國民の經濟生活は今後何うなるか？
非常時經濟讀本（五）

物價騰貴は大禁物
不景氣？も已むを得ない

話が大分貯蓄奬勵の講演のやうな調子になつて來た、これも今日の場合誠に已むを得ぬことゝ諒解してほしい、要するに今日最も大切なことは物價騰貴の抑制といふことである、そしてその物價騰貴を誘發する危險性、可能性があるといふ意味に於て一切の購買力が抑制され貯蓄が奬勵されて強制されんとして居るのであるこれは明かに半歲前の消費節約奬勵が「國産品に對する通常の消費は節約の限りに非ず」といふ立前を採つたことに一歩を否數歩を進めて居る、當時に於ては徒に國民經濟の萎縮を來すことは戰爭遂行の上に好き結果を來すものではないといふ建前を採つた、處が今日に於ては、消費抑制のために少々不景氣になつてもそれは仕方がない、如何なる努力を拂つても物價騰貴だけは抑制したい——といふを採つて居るのである、現に池田商工大臣は經濟部長會議の席上で「所謂平和的中小商工業者中には事業の縮小休止を餘儀なくせられるものも發生し、延いては失業問題を惹起することが豫想されるが……」と陳べて政府の方針の如き、經濟的の犧牲者を出すべきことを豫想して居るのである、これは丁度先年の濱口内閣の緊縮政策强行の當時、政策に伴つて發生する失業者は失業者として別に之を救濟するとして緊縮政策其物は之を遂行するといふ態度を採つたのと殆んど其揆を一にして居る、現に商工大臣も右に擧げた言葉に續けて「之に對しては軍需工業輸出工業、代用品工業等への轉換に極力努める方針であつて、關係方面とも協議の上社會政策的見地よりも適切なる措置を講じたいと考へて居る」と斷言し已むを得ざる犧牲者は別途に救濟の方途を考へるといふ意味を明かにして居る

これを簡單にいへば要するに失業者を出しても不景氣になつても已むを得ない、物價は斷じて許せない、購買力は極力抑へるんだ——といふことに歸着する「尤大豫算——軍需インフレ——物價騰貴」といふ一聯の通俗經濟豫測を基礎に、例へば株式を買ひ煽つたり、何とこの現實の事態の發展がこの通俗論を裏切つて居ることは蓋し誠に已むを得ないことであるといへよう、それならばそれだけの犧牲を拂つても尙ほ政府が抑制彈壓しようとして居る物價騰貴といふことは何故に然く忌むべきことであるのか、それに就てもそれを固守しなくてもよいではないかといふ意見が相當に思慮ある人々によつて唱へられて居るのである、次に少々無駄であつても物價抑制の必要、一志二片維持の必要に就て述べよう

財界
國民生活に活を刺戟して銃後

世間は廣い、さうまで努力して物價を抑へなくても多少の騰貴は却つて氣を與へることになるではないかと考へる人もあるかも知れない、現にこの物價とは表裏不可分の關係に立つ爲替相場の一志二片に對しても必ずしもそれを固守しなくてもよいではないかといふ意見が相當に思慮ある人々によつて唱へられて居るのである、次に少々無駄であつても物價抑制の必要、一志二片維持の必要に就て述べよう

「文化」創刊號
讀後感

豫て安藤潔君の編輯で遠藤書店ら月刊文化誌が發行されるとの噂を聞いて、私は直感的に丸善書房の「學燈」に似寄つたものではないかと思つてゐた、然し安藤君は學究であり趣味の人である、隨つてきらうだらうと豫期して居つたが、さすがに其の反映が濃厚に盛られてゐる、印刷インキの匂ひと紙の新鮮さが呪はしくもなる、幸に遠藤書店の主人がソロバンを超越して企てゐる學生達に非常に役立はしないかと思ふ、指導される側からいへば研究問題を指導者に告げてその指導に乞ふのであるが、この場合指導者は常にせめて本を讀む位の金に不自由を感ぜぬやうにありたいものだとつくづく感する

よし購ふ金がなくとも日本でならばどんなにでも讀書慾を充たされるが、それもこれも果されない苦惱を繰返して居る、日本の親しい友人先輩から新刊の書を送り屆けらるゝ位嬉しいことはない、夜を徹して幾度か讀返したことだらう、印刷インキの匂ひと紙の本屋が三軒もできて、新刊むるにも奥地の讀書人がどんなにか便宜を得るに至るだらうと裏心から感謝して居つた

同誌十六頁の「讀書の指導に就て」を玆に摘載する

新聞雜誌に、新刊紹介や批評が掲げられることはこの目的のために役立つことには相違ない、讀書を中心とする新聞雜誌や一般新聞の讀書欄などにさういふ項目が論ぜられたら、多くの學校に行き得ない學徒や學校に行つても適當な專門家のゐないために何から始めてよいのかを迷つてゐる學生達に非常に役立はしないかと思ふ、指導される側からいへば研究問題を指導者に告げてその指導に乞ふのであるが、この場合指導者は提出された研究問題の意味が先づ正確に把握せられてゐるかどうか判定してやらねばならぬ

次に指導者は、その問題について、如何なるオーソリティが存在するか、その著書名を知らせると共に類似の文献があればそれも擧げる、更にその問題について讀書をなすべきかを指導する、この讀書指導を一般の新刊紹介や批評とともにやつたら非常に便宜が、これから學問をしやうとする人にも、また既に一種の專門家になつてゐる人にも便利であらうと思ふ

此の一文で靈されてゐる、況ぎた」と書いてゐる、事實一般大衆向きではないかも知れない現在の邦人社屋に就て殊更に此の感を深くする、次號からは此方面にも新らしき境地を開拓してほしい、體裁といひ、内容と云ひ、紙質も凡やこの種の設備に惠まれてゐる現在の邦人社屋に就て殊更に此の感を深くする、次號からは此方面にも新らしき境地を開拓してほしい、體裁といひ、内容と云ひ、紙質も凡て遠に於ておちつきがある、殊に誤植の極めて少ないことは何よりも喜ばしい、編者の勞を多とする、凡そブラジルの邦字出版物は實にひどい誤植を平氣でやつてゐる、一ヶ校正したならば眞赤になるだらう、これは編輯者の責任感とは言はぬまでも、ともかく、全誌を通じて然し嫌味に衍氣は喜ばしい、往々にして糊と鋏で平然として他の作品を失敬して紙面を黑くすることを恥と考へて居らぬ連中とは格別の相違である、衞文の飜譯は骨も折れやうが此方面の紹介を續けてほしい、實によきつてもよい頃であり、立ち經つてもよい頃であり、立ち經つてもよい頃であり、立ち經つ

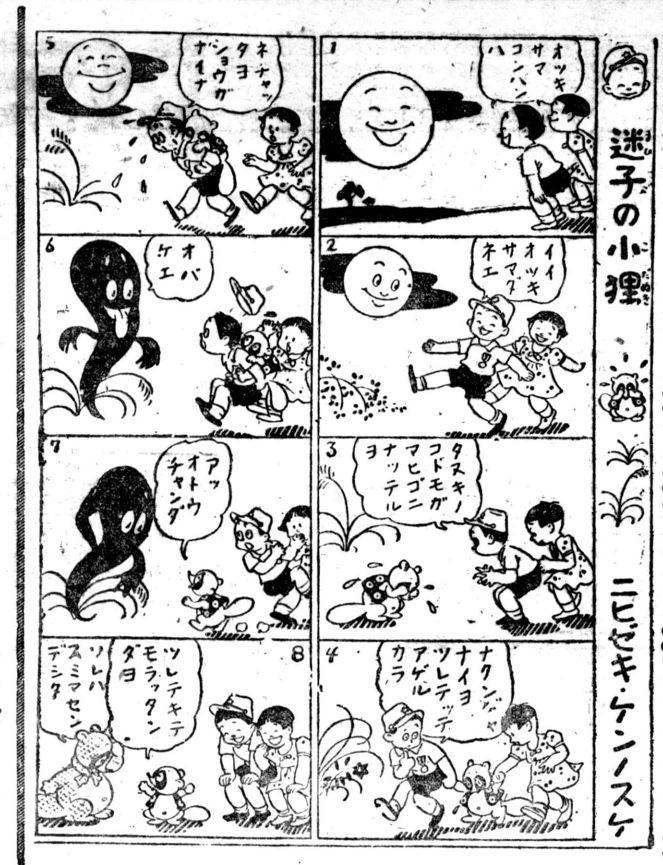
コドモページ

不思議に命中する世界一、日本の大砲

魂をこめて打つからだ

日本軍の大砲のよく當ることは不思議なやうだと支那兵が恐れてゐるばかりでなく外國から支那軍に從軍してゐる新聞記者も驚いてゐます。どうしてそんなに當るかについて、第一線で勇猛部隊長と謳はれた現中部防衛司令部の内藤砲兵少佐に伺ひました。

「支那軍もなか〳〵よい大砲をもつてゐますが指揮する將校と泥ぼと違ふので日本軍一個中隊で支那軍六個中隊の働きをします。大砲には普通一門に分隊長の下士官一名と兵が



迷子の小狸　ニヒゼキ・ケンノスケ

マツタ・ポルコス　街道の青年

……(2)……

古野菊生

——これや、ひどい傷だ！

——ひどいんです。馬が突然暴れたものですから。

そこへ、さつきの黒人が、水をもつて歸つて來た。青年は、怪我人の頭の傷を、いくどもいくどもその清水で洗ひながら、胸をなでゝやつた。

——あなた、お醫者さんですか？

ロシア船員の一人が、さう訊ねた。

——ノン、醫者ぢやないですよ。だけど、手當の仕方はよく知つてゐます。僕も落馬の名人ですからね。

兩手で水をすくつて怪我人の頭にかけた。

——酒もつてゐませんか？

——え、もつてます。

——下さい、それを。

船員の一人は走つて行つて自分の馬の鞍のところから罐をとつて戻つて來た。

——酒をのませませう。元氣がつくから。體を起すのを手傳つて下さい。

さうかうしてゐるうちに、怪我人はやつと我に返つて、うつすらと眼を見開いた。青年は慰めて

——君、痛みませんか？

——えゝ、頭全體。

——すぐ、痛みはとれるでせう。

二人のロシア船員達は相談して、とにかく船へ運ばうと言つたが、青年はそれを止めて

——病院へ連れて行つた方がいゝ。誰か呼んで上げませう

——もう暗いから、僕は家内でそう言ひながら、さつきのてくれよ——と人に話すように言つてゐます。あんなに命中するのは彈丸に兵隊さんの魂が乘つてゆくからだらうと私はいつも思ひました。氣壓の關係とか

風の工合とかは刻々に變るし、火藥の分量もきつちり同じといふわけにはゆかぬので學理上は彈丸は絶對に同じ所へ二發はゆかぬものとされてゐますが、日本の彈丸は同じ所へ二發命中するから不思議ではありませんか、眼に見えない山の向ふの敵でも幾何や三角で測出して裏返計や氣壓計や風速計で計算して（風速五メートルの時は一千メートル先で彈丸が五メートル流れる）命中させますが、なんといつても近距離**近**くの清河鎮といふ所で私のすぐ隣りの部隊は敵前四十七メートル（世界新記錄）まで進み敵の機關銃を全部叩き潰し、その隊自身も壯烈にも全滅しました。

——お前、御苦勞だけど、一等近いい家に行つて、誰でもいゝから人をたのんで、この怪我人を運ぶような叔かなんかを用意して來るのだ。ね、すぐ！

救助の人々が着いた時は、もうとつぷりと日はくれてしまつてゐた。

青年は、船員の一人を呼んで

——もう暗いから、僕は家内に墨人に

——ペードロつていふんですか。怪我人が——ペードロさん、たゞペードロさんとだけで？……

——ブラジル國皇帝ペードロ一世です。

とたんに石のやうに固くなつて不動の姿勢をとつたロシア船員に、輕く敬禮を返して青年皇帝ペードロ一世は、すたすたと歩いて行つた。

（をはり）

＊　＊

明治節

古村徹三　謹作

菊は、しらぎく
けだかく　咲いた。
けふの　けふの、佳い日に
けだかく　咲いた。

仰ぐよ、明治の
みかどの　をしへ。
仰ぐよ　けだかい
みかどの　お德。

空は、あをぞら
はてなく　晴れた。
けふの　けふの、佳い日に
はてなく　晴れた。

童話　風の中の子供　(17)

坪田譲治

三平が土藏の側の高い松の木に登つたのは、自分の家の方が見たいばかりではなかつた。鶏飼のをぢさんとをばさんの話を聞いて、この鶏飼の家にゐたくなかつたのである。身を隠したかつたのである。だから、日が暮れかゝつてゐても、下で自分を呼ぶ聲を聞いても、彼は枝の上にぢつと腰かけてゐた。いつまでもそこにゐるつもりなのである。夕日が西の山に入りかけてゐるのを見ると、中々面白い眺めである。大きくなつて、グリグリ廻つてゐるやうに見える。その時、道の方で、をぢさんが畑のお百姓に聞いてゐた。

「八つの男の子なんですが、御覽になりませんでしたか畫過ぎ親戚からつれて來たんですが、先程ふつとゐなくなつちやつて——。」

「かア、それについちや、先刻から見てゐるんですが、お宅の土藏の松の木ですなあ、あれ、あそこの上に坊チャンらしいものが見えるんですが、危いなあと、私ハラハラしてをりましたんですが——。」

お百姓に指さゝれて、をぢさんは驚いた。

「あれッ、あんなところに登つてやがる。や、これは」

大急ぎで、をぢさんは家にとつて返した。

「こらあ、そこにゐるのは三平ぢやないかあ。」

木の下で、をぢさんは上を仰いでどなつた。

「ウーン、ボクだよう。お日樣見てんだあ。とつても奇麗だよう。」

「大變なボタめ、どうして登つたんだ。」

「ウン、今下りる。もう下りるよ。」

三平はそろそろ木を下に傳ひ始めた。

「だめだ、三平、も一寸そこにぢつとしてるんだよ。をぢさんが、をぢさんが今梯子をとつて來てやるからな

「ウン、いゝや、いいや。ボクすべつて下りるよ。」

「駄目だよ。ぢつとしてるんだよ。いいかい。」

妹思ひのをぢさんは、この山村二里四方に渡つての先生の威嚴も忘れ、狼狽へ氣味に納屋の方へ驅けていつた。

その間に、三平はスルスルと木をすべり、長い梯子をとつて來た時にはもう木の下に立つてゐた。その側にはをばさんも美代子も幸介も集つてゐた。

「大膽ねえ。あの上に登つたんですか。」

をばさんはしきりに感心して繰り返した。美代子、幸介はものもいへなかつた。をぢさんが、梯子を元のところへ擔いでゆくと、をばさんがついて來ていふのであつた。

「あなた、あれは大變な子供ですよ。」

「ウン、痛快な奴さ。」

「痛快どころですか。きつと内の幸介、そのうち大怪我をさせられますよ。」

をぢさんは返事もしなかつた。をばさんはまだ追ひかけていふのである。

「ね、あなた、内で預り切れますかしらん。」

子供達は座敷の縁側に腰かけてゐた。美代子がしきりに三平に話しかけてゐた。彼女は小學六年、姉さんぶりである。

「三平チャン、どうして登つたの？」

「ウン、手に呼つけるのさ。」

「直ぐ登れるよ。」

「ウン、今下りる。もう下りるよ。」

美代子が呼ばれて台所に立つと三平が話し始めた。

「幸介さん、いゝことしないかい。」

「何だい。」

幸介は三年生である。

「ボクね、兄チャンに聞いたんだけど、これくらゐの箱にね。」

三平は手眞似をして見せた。

「コトリのヤドつて字を書くんだとさ。そしてそれを木の枝にぶら下げとくんだつて。さうすると、いつの間にかコトリが來て泊つてるとさ。」

これは幸介を感心させた。

「ホントウ？」

「ホントウさ。」

「ぢや、明日やつてみよう。」

「ウン、やらう。」

二人は固く約束した。

寒さ　どこが一番寒いか？　調べ

一年中暖かいブラジルの國に住んでゐる皆さん方に世界で一ぱん寒い圖を御紹介しませう。昨年の統計を見ると戰地の寒さでは山西省の太原が、近年最も寒かつた日で零下廿五度、南京附近の鎮江で零下十度六、上海では零下七度二、世界で最も寒い記錄を測つたものはロシアのヴェルコヤンスクで零下七十六度日本では樺太落合の零下四十五度六、北海道に渡ると旭川で零下四十一度、朝鮮では中江鎮の零下四十三度六、内地

水・魚　たつ上らか

魚は何故死ぬか

水から陸にあがつた魚はどういふわけで死ぬのか？そんなことはわかりきつてゐる、魚は陸へあがつたら鰓では空中の酸素をとることが出來ないからだ——といふのは常識で、ほんとの死因は他にあるとハンツマンといふアメリカ、トロント大學の先生がいつてゐます。

▽…魚が水からあがつて死ぬのは激しくもがき苦しむからで、つまり窒息でなく過勞死んだ魚をしらべてみると、生きてゆく源となる糖分やグリコーゲンがほとんどなく、血液の中にはげしい筋肉の運動のために出來る乳酸が一杯含まれてゐるのでもわかる。だから鮎や鰤のやうにぱたぱたはねる神經質な魚の方が鰻や鯰のやうな落ちついてあまりはねあがらない魚より早く死んでしまふのです。

戰線佳話

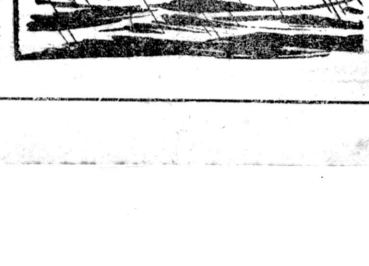
豪雨を衝いて タラヒで渡河

鈴木軍曹の大膽な働き

◆…物凄く降りそゝぐ雨、大地も碎けるやうな雷鳴、空と地を裂くやうな電光——凄絶な八月十二日の夕刻。その雷雨の眞只中を少數のわが勇士が、すぶ濡れになつて馬を走らせます。

これは、江北和縣に居て、わが作戰を妨害する敵の抗日人民自衛軍の掃蕩に向つた星野部隊の勇士でした。

◆…ダ、ダ、ダ——突如、敵の伏兵は黄泥鎮のクリークの彼岸から射ち出しました。彼の弾丸は、豪雨の中にビューンとビューンと飛來しますし勇士



はたちまち下馬してクリーク渡河を準備しました。そのクリークは幅三十メートル位で、雨のため水嵩を増し、渡る舟さへありません。と

鈴木

透逸軍曹は對岸に浮んでゐる一つの盥を發見しました「よいものがあるぞ、よし俺が取つて來る」と叫ぶや、クリークの中にざんぶと飛び込んだのでした。

◆…敵は射撃を集中して來ました。彈丸はクリークの中に落下し豪雨の中に水しぶきをあげます。勇敢な軍曹は水の中をくぐつて遂に對岸に達し盥を摑んで引寄せ用意の綱で縛つて、盥を引きながらの陣に歸つて來た。

「さあこの盥に乗つて敵前上陸だぞ」といふや、待ちかねた決死の勇士は一人づつ盥に乗つてクリークを渡るのです。昔の戰史にでも出て來さうな情景です。だが、風流どころの騒ぎではありません。雨はいよいよはげしく降りそゝぎ雷鳴と稲妻は嘴みつき、敵弾はさかんに落下するので決死の渡河です。

◆…一人、二人、五人、六人、遂に七人の勇士が敵前上陸を敢行しました。「進め！」の命令一下、どつと喊聲をあげて群がる敵の眞只中に斬り込みました。鈴木軍曹も日本刀をふりかぶつて突進、手向ふ敵を斬り伏せてゆきます。と飛來した敵弾は左腕を貫き負傷しましたが、軍曹は

壯烈

少しも屈せず近寄る敵を斬りまくつたのです。と敵の將校が小癪にも應戰して來ました軍曹は血のしたゝる日本刀を振りかぶつて肉薄すると、その勇壯さに驚いてか敵將は逃げ腰になつた時

と振り下した刀一閃、敵將は肩を斬られ、悲鳴をあげてどたりと倒れました。あとで調べるとそれは中隊長で李朱均大尉でした。

◆…中隊長がもろくも倒れたので殘敵は總くづれとなり蜘蛛の子を散らすやうに逃げて行くのをわが勇士は追撃して四百に近い敵を完全に掃蕩してしまひました。血に汚れた征衣を洗ふやうに雨はますます電光は閃めくところ、味方の兵士はどつと萬歳を絶叫して今日の勝利を祝賀するのです。（さしえ伊藤幾久造筆）

サツ

味方

こどもの防空知識

闇を衝く空襲

敵機はどれだけ防げるか

支那軍は六千メートル位よりの氣球をなんぼ射つても彈丸はなかなか遠慮して避けてゆくさうです。日本には理屈の外の力があることをしみ〳〵感じます。

高射砲などの防空設備が完備してゐれば、敵の飛行機は侵入できないやうに普通考へられますが、高射砲彈の壁ができてゐるやうな南京にさへも日本の飛行機はどん〳〵侵入して行きました。また空中戰で敵機の侵入を防げるやうな同志討もで落されたことさへあります。

こんなわけですから敵機は必ず侵入するものと考へて、防空設備を十分にし、防空對策を講じなければならないのです。（中部防衛司令部林毅大尉のお話）

近代アメリカ娘 結婚コース調べ

初めて少女と別れた日は？ 十五、六歳が斷然多い

最近米國有數の流行雜誌で、米國の近代娘一三八人について最初の日の厳密な興味ある調査を行つた、即ち最初に結婚を申込まれた日は？初めて接吻した日は？、初めて少女から別れた日は？、これを何歳の年の何月何日、何時頃、何處で行はれたか？といふ調査である

結婚に就いての最初のプロポーズ

結婚に就いての最初のプロポーズをされた娘さんの年齢は次の樣に示されてゐる

十五歳	一一％
十六歳	八％
十七歳	二％
十八歳	二六％
十九歳	一〇％
二十歳	一二％
二三歳—二五歳	

の間に受けた娘さんは五％で、三十歳を過ぎてからのは（九％）即一割弱である、これについては綿密たるアメリカ娘が結婚までの享樂を永く續けた證左と見る向もあるがどんなものだらうか？

プロポーズも形式は幾通りもある、米國の娘さんはすべてヤンキーガールのフラッパアと言ふことは出來ない、内氣な娘さんや、箱入り娘もゐるであらう、プロポーズを事こまかに覺えてる娘もあるし、子供なじみで何時申込まれたといふわけでなく結婚へと移行する娘さんもある

しかし、一體に何處の國でも一組の男女を内結で合すといふ仲人的心理は非常に愉快なものらしい、かくして慈愛あふれる兩親から許された一組の將來が、自由な戀愛によつて結ばれた者達よりも、圓滿で幸福である例がアメリカの一般であるといふ事實に日本の娘さん達も反省すべきであらう

プロポーズはたゞちに「イエス・オーライ」でまとまるものではない、アメリカの調査によると、その半數（約四五％）は第一回で「オーライ」となつてゐる、二回で承諾したのは三割（二八％）、三回目（一二％）、四回（六％）、五回（三％）といふ割合である

右について「法規の認める子を擧げ度いと願ふ娘さんは三回以上斷る道理がない」と解釋されてゐるが、これも信ずることが出來ない

×××

その季節は何時で、その日の何時頃に、何處で一番最初のプロポーズは試みられるのであらうか？調査する方も仲々熱心である、しらべた結果は俗説の通り春が一番多かつた、夏と冬は殆んど同率を示し、秋がぐんと落ちてゐるのは淋しくも哀れである、數字で示すと

春といふ者が（三八％）、夏が（二八％）、冬（二七％）、そして秋が僅かに七パーセント、發表側の説明によると「秋は活動的であるから夏の後を受けて僅かに必要なもの以外に精力を用ひない休養期だ」と云ふ

一日の中で見ると、夜の十時が トップの（十五％）で、十一時（十四％）十二時（十三％）と漸次下つて午前一時の丑滿時になると（十二％）それから二時になると（八パーセント）愛の言葉より睡眠の方が勝つてることを示してゐる

眞晝間の午前十一時が七パーセントで、午後の五時と九時がこれにつぐいてゐる

「午後の日中の少いのは興味深いことであるが、それは人間が或る物に飢え、混亂した欲望に迷はされるからであらう、そうして朝方の三時になつても四時になつても、五時になつても歸宅しない娘さんを、咲いて待つ母親にとつて大して危險のないプロポーズを受けて遊ぶ娘さんはせ

申込みはだ 春が筆頭

帽子の下の暑くるしく不精にみえます！

斷髪の毛先が帽子の下から

街の プッナス

もつと短くお切りなさいませ、そして鏡で、毛先きを上へ一應卷きあげておきますしかし鏡だけではシケた日はすぐ元にもどつてしまひますからピンを使はねばなりません、それで圖のやうに太目の毛ピンで毛先きをはさみ、上にクル〳〵卷きあげます、まづのびた横の毛はやうに太目の毛ピンを、心にして卷きあげればキレイでもあり丈夫です、もちろん卷いた毛の高さはは じめ帽子をかぶつてみて、効果を見てからピンで止めます

パサツとハミ出てゐますと本當に暑苦しく不精にみえます……

時の話題

をんなの髪 これも立派な代用品

最近のブラジルの新聞に日本では女の頭髪を色々な方面に使つてゐるとデカ〳〵と書きたゝゐましたが、みどりの黒髪を、輸入のとまつた麻糸の代りに用ひ、これと綿糸を混織して、見事な洋服の心地をつくらうといふ—愛知縣下みてゐたことは、各民族のもつ神話や傳説によつて窺はれます、例へば、舊約聖書にみえる剛力無双のサムソンが睡眠中頭の髪を七ふさきり落されたゝめに

（怪力）を失つたといふ話

（（力）また）が國の神話でも、悪戯すきの神樣が嵐つてゐる間に毛髪で縛ばられて五十餘のこれらの巨大な毛綱は念佛の信仰に燃える越後の

（建）（立）ローブとして、練木のひき上げ等に用ひられた一條の長さ廿二丈八尺、太さ一尺一寸、重さ百貫を超えるさて一本の毛の強さは、果してどれ位のものか？或る學者の調べによると、八歳から五十歳頃までの婦人の頭髪は、一〇七グラム、即ち約廿八匁位の力があるといふわけですまた他の學者の調べによると頭髪の強さは、男では一四一グラム、女のものでは一三〇グラムで、男の方が少し強いのです、この毛の強さも

（（麻）糸）のそれとくらべる

（（（）））と洋服の心に用ひるやうな麻糸一本の強さが三百五十匁弱ですから、さすがの毛の強さも及ばないわけです

なほ健康な人でも、一日に冊本から百本ぐらゐの脱毛があるし、理髪店でのものも集めれば、代用品としての毛髪の生産數量も相當なものといふべきです

兎に角かしましい 女の口に固い「錠」

光る目と耳のイパス

その筋から注意

國際情勢が非常に緊迫して来たので、スパイもまた大いに活躍してゐます、このスパイの動きに案外一般の人は無關心ですが、おかみさん達の井戸端會議の話題からも國家の機密が洩れるといふので、警視廳の外事課では、女の方にオシャベリもほど〳〵にすることになりました「女三人寄れば何とか」と申しますが、以下鹽原靜さんのお話

（け）れども これは井戸端會議だけではなく、緣臺話の物知り顔などにも共通の缺點だと思ひます、しかし女に歩が悪いのは、女は「しやべる」か「話」が出來ない筋道立つたことは口がきけないが、お互にベチャ〳〵しやべることはお得意なのですから、話題が徇に飛ぶ力は大變強いと思ひます、井戸端會議でも、社交室の奥樣でも、の事件が、はつきりと記憶されます、自分のその年のその日のことどんな着物を着てゐたかその時、何處へ行つて、どんな風に……

（私）はその點で軍人の奥さんは流石にしつかりしてゐると思はれたことがあります、私のよく知つてゐる方ですが、他の事なら、何でも朗らかに開放的に話されるのに、御主人のことゝなると、何でも不得要領で何にもおつしやらない、これは一般の御婦人のよく心掛けて頂きたいことであらうと思ひます、主人から何かしら國家の機密に關係のあることをきいた、あるひは兵隊になつてゐる愛兒とか愛人とかゝらきいたとしても、婦人の覺悟次第で秘密はもれないはずです

その差は余りないやうに思はれます

女の人に限らず、男の人でも秘密といふものには興味と關心を持ちたがるものです、殊めてもの慰めである」と結んでゐる、日本の母親達はとても辛棒出來やしないであらう

×××

プロポーズの起る場所をしらべると、さすがアメリカ、自動車の中が一番多い、お次が居間、それからランチ・ヤード（裏庭）林檎園、これは花時だ、ダンスは意外に少ない馬上、停車場がこれに續きプロポーズにふさわしい場所と思はれるロマンチックな海邊プール、公園のベンチなどは殆んどない

お酒それは娘さんに對しては效力はない、重大な婚約にお酒を飲んでプロポーズするやうな青年は開放的なアメリカの娘さんでもお斷りである

初めてキスした時

初めてキスした時は？

十二歳が十一パーセント十五歳が十二パーセントそして十六歳の年に經驗した者が二十三パーセントで最頂點、次に十七歳の（十三パーセント）あとは十一歳、廿歳と反對の方向に山形に下つて行く

初めて少女から別れた日は？

少女から別れた日は？

十歳の時の人	七％
十一歳	三％
十二歳	一七％
十三歳	五％
十四歳	五％
十五歳	二〇％
十六歳	二一％
十七歳	四％
十八歳	十三％
十九歳	

（二〇歳、二一歳、二二歳の人は一％に達してゐない

「女の人は自分の最初の經驗の日のことはどんな細かな事までもよく覚えてゐるものです」

びつくり統計

盛り鹽の山々

◇…カフェー、料理店、待合等が、緣起をかついで消める盛り鹽は、僅一摑みとはいへ、一ケ年には馬鹿に出來ない量になる

◇…今、假りに一日五勺としても、全國三十一萬六千九百十五軒の接客業では、一ケ年に五萬四千七百五十石の鹽が無駄になるわけで

◇…四斗樽に十三萬六千八百七十五本といふから大きい

時局百撰漫題（1）

軍人の俸給と戰時手當

三軍を叱咤する大將が、月々僅か五百五十圓の俸給に安んじてゐるといふのは、些か申譯ないことである、國防の第一線に立ち常に生死の間を馳驅する軍人は、經濟的には惠まれてゐない

今、將校の俸給を擧げてみると、大將が年俸六千六百圓、中將が五千八百圓、少將が五千圓——これが實業家だつたら社長級の閣下の俸給だ、これが大佐になると四千百五十圓、中佐で三千二百二十圓、（今度の事變後、暫定的に三千四十圓といふ二等級が出來た）少佐で二千二百三十圓、（暫定の二等級で二千二百十圓）——更に尉官級になると大尉が一、二、三等に分れて千九百圓、千六百五十圓、千四百七十圓、中尉が一等が千三百圓、二等で千二百圓に分れ、少尉が八百五十圓だ、准尉は年功をつんでゐるだけに少尉よりもよく、一等九百六十圓、二等九百圓といふことになつてゐる

これが戰時になると、一樣に六割の戰時手當がつくのであるが少尉や准尉に對しては厚く、少尉の月額七十圓八十錢に對して六十圓、准尉の一等八十圓、二等の七十五圓に對しては共に六十圓の増俸ひますからピンを使はねばなりになると、航空加俸がつき、將校で二十圓から六十圓の手當が月々給され、准士官で十二圓から四十圓、下士官で十圓から三十圓、兵で五圓から二十圓である

まだ、戰場に立つてゐる軍人に對しては、恩給年限加算があつて、一年が三年に計算されるので、四年も戰地にあれば恩給がつくといふわけだ

時變と新聞社の臺所

事變發生以來、新聞の使命はいよ〳〵重きを加へてゐる平時はあまり新聞を手にしない熊公、八公の手合までが、事變のおかげで、毎朝の新聞を むさぼり讀む當今であるが、實際問題として一流紙の部數はぐん〳〵と上昇してゐるのは事實である、この傾向に言はずとも一般國民が、正確なニュースをもたらす一流紙へ〳〵と二流、三流紙から鞍替へしてきたからであつて大新聞は事變の影響をうけて部數は確にのびてゐる、部數が延びれば新聞は黒字——とこれが平時なら、すぐさう考へてもいゝが、ドッコイ現在の事變下にあつては、さうかんたんに部數の増加は即ち黒字とは行かないのである、第一、戰線の擴張によつて現地に送る特派員の數でも相當になる、彼等の旅費手當、電報料、原稿輸送料等々の所謂事變費と云ふものは多額なものである、一流紙ではこれらの費用が多い時は二十萬圓から三十萬圓の金が一ケ月の間に消えたさうである、生身の特派員のことだから萬一名譽の殉職と言ふやうなことになれば一萬圓は新聞社から遺族に送らなければならないそうである、今年の春だつたか某紙の記者が六名一緒に行方不明になつた時その電報を受取つた社長は、無事だつたと言ふ第二の電報を受取るまで、六萬圓、六萬圓と青くなつて呟き仕事が手につかなかつた、間もなく無事の電報が入つた時は、全社内にビールを振舞つつたと言ふ兎に角、東日大毎東西朝日は、さつと事變費として一年に二百萬圓内外の金が消えてゐる、他の新聞は推して知るべし

萬國博はどうなつてゐかる

南米へ丸山鶴吉氏等が萬國招請使節であると云つて飛行機で飛んだり講演會を開いてゐるうちに萬國博覽會が支那事變が終るまで延期されることになつた、萬博は長期抗戰だから、萬博は長期待機だ、では萬博はどんな待機體制をとつてゐるか？ 先づ事務局レット「萬博」も廢刊することになつた、かくて萬博は寂寞の年四月閉鎖されて、藤原會長の下に、副島事務總長、松永事務次長を初め、總務、財務、出品、事業、報道、工營の六部長以下職員三百六十名を擁して、一月の人件費約四萬圓にしつて、一月の人件費約四萬圓に上つてゐたが、結局少額は現在の全職員を一應待命とし、その中六十名に對して、改めて待命を取消し、整理者に對しては退職申出を待つのだが、退職申出は總長、次長、四部長を筆頭に、總數三百名及び新職制は庶務、計畫の二部の下に、六十名が事務を繼續し、住居も家賃二千圓の日比谷から月島のバラックに移つた、また海外に行つてゐる招請使節も引揚げ、宣傳パンフ、ポスター、ラジオ、映畫、ポスター、ラジオ、映畫、ポスター、ラジオ、映畫

騙し戰術の裏を掻く

聲色篇

「バンザイ敵は逃げたゾ」

敵の手に乘つたと見せかけ 逆手の聲色で見事討ち取る

「萬歲、萬歲、萬歲、敵は逃げたぞ」と小癪にも日本語を巧みに操つて、我軍を誘ひ寄せんとする敵の裏をかきこれに突入した飯野部隊の殊勳

この手を知つてゐたわが將兵は敵の裏をかいて一齊に喊聲をあげて突擊するやうな風をしてじつと動かずにゐると敵は得たりとばかり猛烈に手榴彈を投げてきた「やられた、やられた」「痛い、痛い」と眞に迫る聲色を出してあたかも死傷した如く見せかけ、敵の攻擊の鎖まるのを見計らつて更に靜かに進出、三、四十メートルに接近して今度こそ本當の喊聲をあげて突擊に移るや、まさかと思つてゐた敵は泡を食つて逃げ出し遂に七日午前七時頃上を占領、鹵獲したチエツコ機銃四挺、重機一つから將介石の訓示を受けて來た一愛國前線女性隊」だと意氣軒昂!として語つてゐた漢口から京漢線で信陽に運ばれ光州を經て前線に進出し、その間支那將兵にさんざん苦しめられて今ではすでにやけ氣味になつて祖國を愛から出た勇敢さよりもむしろ自殺してしまひたいやうな自棄的氣分からこんな危險な役をやつてゐる、彼女らの仲間は百名近くこの前戰に出浚してゐるといふ纖弱い女性と信じつつかり保護してやると日本軍の慈悲心もこの前線ではすでにあぶないのだ、蔣介石の苦肉の策はこのやうに女性を死地に陷れて行く

媚笑篇

高粱畑でニヤリ

勇士を招く女、果して山者 ヤケ糞愛國の「媚殺隊」

江北戰線にこれはまた意外「媚殺隊」といふ厄介な支那娘が現れた、支那軍の敗戰につぐ敗戰に業を煮やした新女性たちが「男つてどうしてこんなに意氣地がないんだらう」と得意の媚で日本軍を釣り出さうといふ大膽なことをやり出した、いふまでもなく日本軍を支那軍と同じやうに甘く見たのがそもそも支那女性たちの認識不足である、こちらが小部隊と見ると道の傍の高粱のなかから首を出してニコ〳〵と微笑みかけ、うつかりついて行くとパンとやらうといふのだが日本軍の兵隊さんはその點はちやんと心得たものである「こいつはをかしいぞ」と睨んで早速二、三名謀し合せたうへ一人は囮と見せかけ他の同僚はそつと兩側からひそみかくれてその行方を見屆けると果せるかな二、三人の女が固まり集つてあはやいふ刹那あべこべに全部捕虜にしてしまつた、固始から光州に通ずる道路上での出來ごとであつた、彼女らはなんとはるゝ〳〵漢口から將介石の訓示を受けて來た「愛國前線女性隊」だと意氣軒昂!として語つてゐた漢口から京漢線で信陽に運ばれ光州を經て前線に進出し、その間支那將兵にさん〳〵苦しめられて今ではすでにやけ氣味になつて祖國を愛から出た勇敢さよりもむしろ自殺してしまひたいやうな自棄的氣分からこんな危險な役をやつてゐる、彼女らの仲間は百名近くこの前戰に出浚してゐるといふ纖弱い女性と信じつつかり保護してやると日本軍の慈悲心もこの前線ではすでにあぶないのだ、蔣介石の苦肉の策はこのやうに女性を死地に陷れて行く

戰時下の代用藥に 日本酒が登場

上戸黨喜べ「興奮劑」

「百藥の長」といはれる日本酒が事變下に本然の姿を發見し藥用酒として厚生省の「藥局方」—政府が藥品の規格を指定せるもの—に登載されようといふ、酒の害毒を說く禁酒論者にちよつと耳は痛いがだ——去る六月、物資動員計畫の强化に基く輸入制限令の前進によつて、藥品は必要已むを得ざるものを除いてほとんど輸入禁止となり厚生省では「戰時藥局方」の制定のため目下國產代用藥の研究をすめてゐる

この經費は急を要するので第二豫備金から支出されることになりすでに民間の專門家と協力し百餘種の藥品用途を微動だもさせない」代用藥を目標とし、性質、品種の二つの方法でその決定に大童だ

このうち酒そのものとして現在の「藥局方」に登載され、興奮劑に使用されてゐるのはブドー酒だけで、このブドー酒は全部フランス產の年額百萬圓に達する輸入品である

即ち藥用ブドー酒には國產は全然なく全部輸入に仰いでゐるがこんどの輸入制限で何とかこれに代るべき代用藥はないかと研究した結果

果然日本酒が「戰時藥局方」の花形としてデビユウして來た譯である、その用途は勿論「興奮劑」で興奮劑として必要な赤い色がないことなどが難となつてゐるが、これは無

中等卒業で月收百圓

引張り凧の學校

東京府立工藝と府立化工の豪勢さ 一二年後卒まで豫約

東京市產業局が江東、大森、蒲田を中心に工業都市大東京の建設をめざして大童の折から最近の軍需景氣は雨後の竹子のやうに大小工場の新築、擴張となつてどこを見ても技術者は大拂底、惱み拔いた各會社、工場ではやつと夏休みが終つたばかりといふのに早くも來年度卒業生に目をつけていたるところ猛烈なゲリラ戰の展開、すでに市內の有力工業學校には三倍から五倍といふ豫想外の申込が殺到してゐる有樣にイザ來年の卒業期にでもなつたら大變だと學校當局はうれしい青息吐息を漏らしてゐる、水道橋の府立工藝と深川の府立化工の掲示をのぞいて見る

府立工藝學校

一番景氣のよいのは精密機械科、五十名の同科卒業生は引つぱりだこで五倍、六倍といふ豫約申込、次は金屬工藝科廿名、木工科廿三名、印刷科廿七名第二本科四十名、選科十名も二倍から三倍の申込みで若し默目だつたら十五年度の卒業生でもよいから今から契約して下さいと坐り込み戰術で頑張る會社も相當にあり學校でもこの割振りに惱んでゐる

府立化學工業

深川工業地帶の中心地にある府立化學工業學校は應用化學科五十名、電氣化學科廿名、機械化學科五十名で應用化學科の五倍を爭頭に電氣化學科、機械化學科とも三倍を超ゆる狀態第二本科五十名、第二、第三、第四、第五、第六、第七、第八、第九、第十、第十一、第十二、第十三、第十四、第十五、第十六、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十一、第二十二、第二十三、第二十四、第二十五、第二十六、第二十七、第二十八、第二十九、第三十、第三十一、第三十二、第三十三、第三十四、第三十五、第三十六、第三十七、第三十八、第三十九、第四十、第四十一、第四十二、第四十三、第四十四、第四十五、第四十六、第四十七、第四十八、第四十九、第五十、第五十一、第五十二、第五十三、第五十四、第五十五、第五十六、第五十七、第五十八、第五十九、第六十、第六十一、第六十二、第六十三、第六十四、第六十五、第六十六、第六十七、第六十八、第六十九、第七十、第七十一、第七十二、第七十三、第七十四、第七十五、第七十六、第七十七、第七十八、第七十九、第八十、第八十一、第八十二、第八十三、第八十四、第八十五、第八十六、第八十七、第八十八、第八十九、第九十、第九十一、第九十二、第九十三、第九十四、第九十五、第九十六、第九十七、第九十八、第九十九、第百、第百一、第百二、第百三、第百四、第百五、第百六、第百七、第百八、第百九、第百十、第百十一、第百十二、第百十三、第百十四、第百十五、第百十六、第百十七、第百十八、第百十九、第百二十、第百二十一、第百二十二、第百二十三、第百二十四、第百二十五、第百二十六、第百二十七、第百二十八、第百二十九、第百三十、第百三十一、第百三十二、第百三十三、第百三十四、第百三十五、第百三十六、第百三十七、第百三十八、第百三十九、第百四十、第百四十一、第百四十二、第百四十三、第百四十四、第百四十五、第百四十六、第百四十七、第百四十八、第百四十九、第百五十、第百五十一、第百五十二、第百五十三、第百五十四、第百五十五、第百五十六、第百五十七、第百五十八、第百五十九、第百六十、第百六十一、第百六十二、第百六十三、第百六十四、第百六十五、第百六十六、第百六十七、第百六十八、第百六十九、第百七十、第百七十一、第百七十二、第百七十三、第百七十四、第百七十五、第百七十六、第百七十七、第百七十八、第百七十九、第百八十、第百八十一、第百八十二、第百八十三、第百八十四、第百八十五、第百八十六、第百八十七、第百八十八、第百八十九、第百九十、第百九十一、第百九十二、第百九十三、第百九十四、第百九十五、第百九十六、第百九十七、第百九十八、第百九十九、第二百、第二百一、第二百二、第二百三、第二百四、第二百五、第二百六、第二百七、第二百八、第二百九、第二百十、第二百十一、第二百十二、第二百十三、第二百十四、第二百十五、第二百十六、第二百十七、第二百十八、第二百十九、第二百二十、第二百二十一、第二百二十二、第二百二十三、第二百二十四、第二百二十五、第二百二十六、第二百二十七、第二百二十八、第二百二十九、第二百三十、第二百三十一、第二百三十二、第二百三十三、第二百三十四、第二百三十五、第二百三十六、第二百三十七、第二百三十八、第二百三十九、第二百四十、第二百四十一、第二百四十二、第二百四十三、第二百四十四、第二百四十五、第二百四十六、第二百四十七、第二百四十八、第二百四十九、第二百五十、第二百五十一、第二百五十二、第二百五十三、第二百五十四、第二百五十五、第二百五十六、第二百五十七、第二百五十八、第二百五十九、第二百六十、第二百六十一、第二百六十二、第二百六十三、第二百六十四、第二百六十五、第二百六十六、第二百六十七、第二百六十八、第二百六十九、第二百七十、第二百七十一、第二百七十二、第二百七十三、第二百七十四、第二百七十五、第二百七十六、第二百七十七、第二百七十八、第二百七十九、第二百八十、第二百八十一、第二百八十二、第二百八十三、第二百八十四、第二百八十五、第二百八十六、第二百八十七、第二百八十八、第二百八十九、第二百九十、第二百九十一、第二百九十二、第二百九十三、第二百九十四、第二百九十五、第二百九十六、第二百九十七、第二百九十八、第二百九十九、第三百、第三百一、第三百二、第三百三、第三百四、第三百五、第三百六、第三百七、第三百八、第三百九、第三百十、第三百十一、第三百十二、第三百十三、第三百十四、第三百十五、第三百十六、第三百十七、第三百十八、第三百十九、第三百二十、第三百二十一、第三百二十二、第三百二十三、第三百二十四、第三百二十五、第三百二十六、第三百二十七、第三百二十八、第三百二十九、第三百三十、第三百三十一、第三百三十二、第三百三十三、第三百三十四、第三百三十五、第三百三十六、第三百三十七、第三百三十八、第三百三十九、第三百四十、第三百四十一、第三百四十二、第三百四十三、第三百四十四、第三百四十五、第三百四十六、第三百四十七、第三百四十八、第三百四十九、第三百五十、第三百五十一、第三百五十二、第三百五十三、第三百五十四、第三百五十五、第三百五十六、第三百五十七、第三百五十八、第三百五十九、第三百六十、第三百六十一、第三百六十二、第三百六十三、第三百六十四、第三百六十五、第三百六十六、第三百六十七、第三百六十八、第三百六十九、第三百七十、第三百七十一、第三百七十二、第三百七十三、第三百七十四、第三百七十五、第三百七十六、第三百七十七、第三百七十八、第三百七十九、第三百八十、第三百八十一、第三百八十二、第三百八十三、第三百八十四、第三百八十五、第三百八十六、第三百八十七、第三百八十八、第三百八十九、第三百九十、第三百九十一、第三百九十二、第三百九十三、第三百九十四、第三百九十五、第三百九十六、第三百九十七、第三百九十八、第三百九十九、第四百、第四百一、第四百二、第四百三、第四百四、第四百五、第四百六、第四百七、第四百八、第四百九、第四百十、第四百十一、第四百十二、第四百十三、第四百十四、第四百十五、第四百十六、第四百十七、第四百十八、第四百十九、第四百二十、第四百二十一、第四百二十二、第四百二十三、第四百二十四、第四百二十五、第四百二十六、第四百二十七、第四百二十八、第四百二十九、第四百三十、第四百三十一、第四百三十二、第四百三十三、第四百三十四、第四百三十五、第四百三十六、第四百三十七、第四百三十八、第四百三十九、第四百四十、第四百四十一、第四百四十二、第四百四十三、第四百四十四、第四百四十五、第四百四十六、第四百四十七、第四百四十八、第四百四十九、第四百五十、第四百五十一、第四百五十二、第四百五十三、第四百五十四、第四百五十五、第四百五十六、第四百五十七、第四百五十八、第四百五十九、第四百六十、第四百六十一、第四百六十二、第四百六十三、第四百六十四、第四百六十五、第四百六十六、第四百六十七、第四百六十八、第四百六十九、第四百七十、第四百七十一、第四百七十二、第四百七十三、第四百七十四、第四百七十五、第四百七十六、第四百七十七、第四百七十八、第四百七十九、第四百八十、第四百八十一、第四百八十二、第四百八十三、第四百八十四、第四百八十五、第四百八十六、第四百八十七、第四百八十八、第四百八十九、第四百九十、第四百九十一、第四百九十二、第四百九十三、第四百九十四、第四百九十五、第四百九十六、第四百九十七、第四百九十八、第四百九十九、第五百、第五百一、第五百二、第五百三、第五百四、第五百五、第五百六、第五百七、第五百八、第五百九、第五百十、第五百十一、第五百十二、第五百十三、第五百十四、第五百十五、第五百十六、第五百十七、第五百十八、第五百十九、第五百二十、第五百二十一、第五百二十二、第五百二十三、第五百二十四、第五百二十五、第五百二十六、第五百二十七、第五百二十八、第五百二十九、第五百三十、第五百三十一、第五百三十二、第五百三十三、第五百三十四、第五百三十五、第五百三十六、第五百三十七、第五百三十八、第五百三十九、第五百四十、第五百四十一、第五百四十二、第五百四十三、第五百四十四、第五百四十五、第五百四十六、第五百四十七、第五百四十八、第五百四十九、第五百五十、第五百五十一、第五百五十二、第五百五十三、第五百五十四、第五百五十五、第五百五十六、第五百五十七、第五百五十八、第五百五十九、第五百六十、第五百六十一、第五百六十二、第五百六十三、第五百六十四、第五百六十五、第五百六十六、第五百六十七、第五百六十八、第五百六十九、第五百七十、第五百七十一、第五百七十二、第五百七十三、第五百七十四、第五百七十五、第五百七十六、第五百七十七、第五百七十八、第五百七十九、第五百八十、第五百八十一、第五百八十二、第五百八十三、第五百八十四、第五百八十五、第五百八十六、第五百八十七、第五百八十八、第五百八十九、第五百九十、第五百九十一、第五百九十二、第五百九十三、第五百九十四、第五百九十五、第五百九十六、第五百九十七、第五百九十八、第五百九十九、第六百、第六百一、第六百二、第六百三、第六百四、第六百五、第六百六、第六百七、第六百八、第六百九、第六百十、第六百十一、第六百十二、第六百十三、第六百十四、第六百十五、第六百十六、第六百十七、第六百十八、第六百十九、第六百二十、第六百二十一、第六百二十二、第六百二十三、第六百二十四、第六百二十五、第六百二十六、第六百二十七、第六百二十八、第六百二十九、第六百三十、第六百三十一、第六百三十二、第六百三十三、第六百三十四、第六百三十五、第六百三十六、第六百三十七、第六百三十八、第六百三十九、第六百四十、第六百四十一、第六百四十二、第六百四十三、第六百四十四、第六百四十五、第六百四十六、第六百四十七、第六百四十八、第六百四十九、第六百五十、第六百五十一、第六百五十二、第六百五十三、第六百五十四、第六百五十五、第六百五十六、第六百五十七、第六百五十八、第六百五十九、第六百六十、第六百六十一、第六百六十二、第六百六十三、第六百六十四、第六百六十五、第六百六十六、第六百六十七、第六百六十八、第六百六十九、第六百七十、第六百七十一、第六百七十二、第六百七十三、第六百七十四、第六百七十五、第六百七十六、第六百七十七、第六百七十八、第六百七十九、第六百八十、第六百八十一、第六百八十二、第六百八十三、第六百八十四、第六百八十五、第六百八十六、第六百八十七、第六百八十八、第六百八十九、第六百九十、第六百九十一、第六百九十二、第六百九十三、第六百九十四、第六百九十五、第六百九十六、第六百九十七、第六百九十八、第六百九十九、第七百、第七百一、第七百二、第七百三、第七百四、第七百五、第七百六、第七百七、第七百八、第七百九、第七百十、第七百十一、第七百十二、第七百十三、第七百十四、第七百十五、第七百十六、第七百十七、第七百十八、第七百十九、第七百二十、第七百二十一、第七百二十二、第七百二十三、第七百二十四、第七百二十五、第七百二十六、第七百二十七、第七百二十八、第七百二十九、第七百三十、第七百三十一、第七百三十二、第七百三十三、第七百三十四、第七百三十五、第七百三十六、第七百三十七、第七百三十八、第七百三十九、第七百四十、第七百四十一、第七百四十二、第七百四十三、第七百四十四、第七百四十五、第七百四十六、第七百四十七、第七百四十八、第七百四十九、第七百五十、第七百五十一、第七百五十二、第七百五十三、第七百五十四、第七百五十五、第七百五十六、第七百五十七、第七百五十八、第七百五十九、第七百六十、第七百六十一、第七百六十二、第七百六十三、第七百六十四、第七百六十五、第七百六十六、第七百六十七、第七百六十八、第七百六十九、第七百七十、第七百七十一、第七百七十二、第七百七十三、第七百七十四、第七百七十五、第七百七十六、第七百七十七、第七百七十八、第七百七十九、第七百八十、第七百八十一、第七百八十二、第七百八十三、第七百八十四、第七百八十五、第七百八十六、第七百八十七、第七百八十八、第七百八十九、第七百九十、第七百九十一、第七百九十二、第七百九十三、第七百九十四、第七百九十五、第七百九十六、第七百九十七、第七百九十八、第七百九十九、第八百、第八百一、第八百二、第八百三、第八百四、第八百五、第八百六、第八百七、第八百八、第八百九、第八百十、第八百十一、第八百十二、第八百十三、第八百十四、第八百十五、第八百十六、第八百十七、第八百十八、第八百十九、第八百二十、第八百二十一、第八百二十二、第八百二十三、第八百二十四、第八百二十五、第八百二十六、第八百二十七、第八百二十八、第八百二十九、第八百三十、第八百三十一、第八百三十二、第八百三十三、第八百三十四、第八百三十五、第八百三十六、第八百三十七、第八百三十八、第八百三十九、第八百四十、第八百四十一、第八百四十二、第八百四十三、第八百四十四、第八百四十五、第八百四十六、第八百四十七、第八百四十八、第八百四十九、第八百五十、第八百五十一、第八百五十二、第八百五十三、第八百五十四、第八百五十五、第八百五十六、第八百五十七、第八百五十八、第八百五十九、第八百六十、第八百六十一、第八百六十二、第八百六十三、第八百六十四、第八百六十五、第八百六十六、第八百六十七、第八百六十八、第八百六十九、第八百七十、第八百七十一、第八百七十二、第八百七十三、第八百七十四、第八百七十五、第八百七十六、第八百七十七、第八百七十八、第八百七十九、第八百八十、第八百八十一、第八百八十二、第八百八十三、第八百八十四、第八百八十五、第八百八十六、第八百八十七、第八百八十八、第八百八十九、第八百九十、第八百九十一、第八百九十二、第八百九十三、第八百九十四、第八百九十五、第八百九十六、第八百九十七、第八百九十八、第八百九十九、第九百、第九百一、第九百二、第九百三、第九百四、第九百五、第九百六、第九百七、第九百八、第九百九、第九百十、第九百十一、第九百十二、第九百十三、第九百十四、第九百十五、第九百十六、第九百十七、第九百十八、第九百十九、第九百二十、第九百二十一、第九百二十二、第九百二十三、第九百二十四、第九百二十五、第九百二十六、第九百二十七、第九百二十八、第九百二十九、第九百三十、第九百三十一、第九百三十二、第九百三十三、第九百三十四、第九百三十五、第九百三十六、第九百三十七、第九百三十八、第九百三十九、第九百四十、第九百四十一、第九百四十二、第九百四十三、第九百四十四、第九百四十五、第九百四十六、第九百四十七、第九百四十八、第九百四十九、第九百五十、第九百五十一、第九百五十二、第九百五十三、第九百五十四、第九百五十五、第九百五十六、第九百五十七、第九百五十八、第九百五十九、第九百六十、第九百六十一、第九百六十二、第九百六十三、第九百六十四、第九百六十五、第九百六十六、第九百六十七、第九百六十八、第九百六十九、第九百七十、第九百七十一、第九百七十二、第九百七十三、第九百七十四、第九百七十五、第九百七十六、第九百七十七、第九百七十八、第九百七十九、第九百八十、第九百八十一、第九百八十二、第九百八十三、第九百八十四、第九百八十五、第九百八十六、第九百八十七、第九百八十八、第九百八十九、第九百九十、第九百九十一、第九百九十二、第九百九十三、第九百九十四、第九百九十五、第九百九十六、第九百九十七、第九百九十八、第九百九十九、第十百、第十百一、第十百二、第十百三、第十百四、第十百五、第十百六、第十百七、第十百八、第十百九、第十百十、第十百十一、第十百十二、第十百十三、第十百十四、第十百十五、第十百十六、第十百十七、第十百十八、第十百十九、第十百二十、第十百二十一、第十百二十二、第十百二十三、第十百二十四、第十百二十五、第十百二十六、第十百二十七、第十百二十八、第十百二十九、第十百三十、第十百三十一、第十百三十二、第十百三十三、第十百三十四、第十百三十五、第十百三十六、第十百三十七、第十百三十八、第十百三十九、第十百四十、第十百四十一、第十百四十二、第十百四十三、第十百四十四、第十百四十五、第十百四十六、第十百四十七、第十百四十八、第十百四十九、第十百五十、第十百五十一、第十百五十二、第十百五十三、第十百五十四、第十百五十五、第十百五十六、第十百五十七、第十百五十八、第十百五十九、第十百六十、第十百六十一、第十百六十二、第十百六十三、第十百六十四、第十百六十五、第十百六十六、第十百六十七、第十百六十八、第十百六十九、第十百七十、第十百七十一、第十百七十二、第十百七十三、第十百七十四、第十百七十五、第十百七十六、第十百七十七、第十百七十八、第十百七十九、第十百八十、第十百八十一、第十百八十二、第十百八十三、第十百八十四、第十百八十五、第十百八十六、第十百八十七、第十百八十八、第十百八十九、第十百九十、第十百九十一、第十百九十二、第十百九十三、第十百九十四、第十百九十五、第十百九十六、第十百九十七、第十百九十八、第十百九十九、第二十百、第二十百一、第二十百二、第二十百三、第二十百四、第二十百五、第二十百六、第二十百七、第二十百八、第二十百九、第二十百十、第二十百十一、第二十百十二、第二十百十三、第二十百十四、第二十百十五、第二十百十六、第二十百十七、第二十百十八、第二十百十九、第二十百二十、第二十百二十一、第二十百二十二、第二十百二十三、第二十百二十四、第二十百二十五、第二十百二十六、第二十百二十七、第二十百二十八、第二十百二十九、第二十百三十、第二十百三十一、第二十百三十二、第二十百三十三、第二十百三十四、第二十百三十五、第二十百三十六、第二十百三十七、第二十百三十八、第二十百三十九、第二十百四十、第二十百四十一、第二十百四十二、第二十百四十三、第二十百四十四、第二十百四十五、第二十百四十六、第二十百四十七、第二十百四十八、第二十百四十九、第二十百五十、第二十百五十一、第二十百五十二、第二十百五十三、第二十百五十四、第二十百五十五、第二十百五十六、第二十百五十七、第二十百五十八、第二十百五十九、第二十百六十、第二十百六十一、第二十百六十二、第二十百六十三、第二十百六十四、第二十百六十五、第二十百六十六、第二十百六十七、第二十百六十八、第二十百六十九、第二十百七十、第二十百七十一、第二十百七十二、第二十百七十三、第二十百七十四、第二十百七十五、第二十百七十六、第二十百七十七、第二十百七十八、第二十百七十九、第二十百八十、第二十百八十一、第二十百八十二、第二十百八十三、第二十百八十四、第二十百八十五、第二十百八十六、第二十百八十七、第二十百八十八、第二十百八十九、第二十百九十、第二十百九十一、第二十百九十二、第二十百九十三、第二十百九十四、第二十百九十五、第二十百九十六、第二十百九十七、第二十百九十八、第二十百九十九、第三十百、第三十百一、第三十百二、第三十百三、第三十百四、第三十百五、第三十百六、第三十百七、第三十百八、第三十百九、第三十百十、第三十百十一、第三十百十二、第三十百十三、第三十百十四、第三十百十五、第三十百十六、第三十百十七、第三十百十八、第三十百十九、第三十百二十、第三十百二十一、第三十百二十二、第三十百二十三、第三十百二十四、第三十百二十五、第三十百二十六、第三十百二十七、第三十百二十八、第三十百二十九、第三十百三十、第三十百三十一、第三十百三十二、第三十百三十三、第三十百三十四、第三十百三十五、第三十百三十六、第三十百三十七、第三十百三十八、第三十百三十九、第三十百四十、第三十百四十一、第三十百四十二、第三十百四十三、第三十百四十四、第三十百四十五、第三十百四十六、第三十百四十七、第三十百四十八、第三十百四十九、第三十百五十、第三十百五十一、第三十百五十二、第三十百五十三、第三十百五十四、第三十百五十五、第三十百五十六、第三十百五十七、第三十百五十八、第三十百五十九、第三十百六十、第三十百六十一、第三十百六十二、第三十百六十三、第三十百六十四、第三十百六十五、第三十百六十六、第三十百六十七、第三十百六十八、第三十百六十九、第三十百七十、第三十百七十一、第三十百七十二、第三十百七十三、第三十百七十四、第三十百七十五、第三十百七十六、第三十百七十七、第三十百七十八、第三十百七十九、第三十百八十、第三十百八十一、第三十百八十二、第三十百八十三、第三十百八十四、第三十百八十五、第三十百八十六、第三十百八十七、第三十百八十八、第三十百八十九、第三十百九十、第三十百九十一、第三十百九十二、第三十百九十三、第三十百九十四、第三十百九十五、第三十百九十六、第三十百九十七、第三十百九十八、第三十百九十九、第四十百、第四十百一、第四十百二、第四十百三、第四十百四、第四十百五、第四十百六、第四十百七、第四十百八、第四十百九、第四十百十、第四十百十一、第四十百十二、第四十百十三、第四十百十四、第四十百十五、第四十百十六、第四十百十七、第四十百十八、第四十百十九、第四十百二十、第四十百二十一、第四十百二十二、第四十百二十三、第四十百二十四、第四十百二十五、第四十百二十六、第四十百二十七、第四十百二十八、第四十百二十九、第四十百三十、第四十百三十一、第四十百三十二、第四十百三十三、第四十百三十四、第四十百三十五、第四十百三十六、第四十百三十七、第四十百三十八、第四十百三十九、第四十百四十、第四十百四十一、第四十百四十二、第四十百四十三、第四十百四十四、第四十百四十五、第四十百四十六、第四十百四十七、第四十百四十八、第四十百四十九、第四十百五十、第四十百五十一、第四十百五十二、第四十百五十三、第四十百五十四、第四十百五十五、第四十百五十六、第四十百五十七、第四十百五十八、第四十百五十九、第四十百六十、第四十百六十一、第四十百六十二、第四十百六十三、第四十百六十四、第四十百六十五、第四十百六十六、第四十百六十七、第四十百六十八、第四十百六十九、第四十百七十、第四十百七十一、第四十百七十二、第四十百七十三、第四十百七十四、第四十百七十五、第四十百七十六、第四十百七十七、第四十百七十八、第四十百七十九、第四十百八十、第四十百八十一、第四十百八十二、第四十百八十三、第四十百八十四、第四十百八十五、第四十百八十六、第四十百八十七、第四十百八十八、第四十百八十九、第四十百九十、第四十百九十一、第四十百九十二、第四十百九十三、第四十百九十四、第四十百九十五、第四十百九十六、第四十百九十七、第四十百九十八、第四十百九十九、第五十百、第五十百一、第五十百二、第五十百三、第五十百四、第五十百五、第五十百六、第五十百七、第五十百八、第五十百九、第五十百十、第五十百十一、第五十百十二、第五十百十三、第五十百十四、第五十百十五、第五十百十六、第五十百十七、第五十百十八、第五十百十九、第五十百二十、第五十百二十一、第五十百二十二、第五十百二十三、第五十百二十四、第五十百二十五、第五十百二十六、第五十百二十七、第五十百二十八、第五十百二十九、第五十百三十、第五十百三十一、第五十百三十二、第五十百三十三、第五十百三十四、第五十百三十五、第五十百三十六、第五十百三十七、第五十百三十八、第五十百三十九、第五十百四十、第五十百四十一、第五十百四十二、第五十百四十三、第五十百四十四、第五十百四十五、第五十百四十六、第五十百四十七、第五十百四十八、第五十百四十九、第五十百五十、第五十百五十一、第五十百五十二、第五十百五十三、第五十百五十四、第五十百五十五、第五十百五十六、第五十百五十七、第五十百五十八、第五十百五十九、第五十百六十、第五十百六十一、第五十百六十二、第五十百六十三、第五十百六十四、第五十百六十五、第五十百六十六、第五十百六十七、第五十百六十八、第五十百六十九、第五十百七十、第五十百七十一、第五十百七十二、第五十百七十三、第五十百七十四、第五十百七十五、第五十百七十六、第五十百七十七、第五十百七十八、第五十百七十九、第五十百八十、第五十百八十一、第五十百八十二、第五十百八十三、第五十百八十四、第五十百八十五、第五十百八十六、第五十百八十七、第五十百八十八、第五十百八十九、第五十百九十、第五十百九十一、第五十百九十二、第五十百九十三、第五十百九十四、第五十百九十五、第五十百九十六、第五十百九十七、第五十百九十八、第五十百九十九、第六十百、第六十百一、第六十百二、第六十百三、第六十百四、第六十百五、第六十百六、第六十百七、第六十百八、第六十百九、第六十百十、第六十百十一、第六十百十二、第六十百十三、第六十百十四、第六十百十五、第六十百十六、第六十百十七、第六十百十八、第六十百十九、第六十百二十、第六十百二十一、第六十百二十二、第六十百二十三、第六十百二十四、第六十百二十五、第六十百二十六、第六十百二十七、第六十百二十八、第六十百二十九、第六十百三十、第六十百三十一、第六十百三十二、第六十百三十三、第六十百三十四、第六十百三十五、第六十百三十六、第六十百三十七、第六十百三十八、第六十百三十九、第六十百四十、第六十百四十一、第六十百四十二、第六十百四十三、第六十百四十四、第六十百四十五、第六十百四十六、第六十百四十七、第六十百四十八、第六十百四十九、第六十百五十、第六十百五十一、第六十百五十二、第六十百五十三、第六十百五十四、第六十百五十五、第六十百五十六、第六十百五十七、第六十百五十八、第六十百五十九、第六十百六十、第六十百六十一、第六十百六十二、第六十百六十三、第六十百六十四、第六十百六十五、第六十百六十六、第六十百六十七、第六十百六十八、第六十百六十九、第六十百七十、第六十百七十一、第六十百七十二、第六十百七十三、第六十百七十四、第六十百七十五、第六十百七十六、第六十百七十七、第六十百七十八、第六十百七十九、第六十百八十、第六十百八十一、第六十百八十二、第六十百八十三、第六十百八十四、第六十百八十五、第六十百八十六、第六十百八十七、第六十百八十八、第六十百八十九、第六十百九十、第六十百九十一、第六十百九十二、第六十百九十三、第六十百九十四、第六十百九十五、第六十百九十六、第六十百九十七、第六十百九十八、第六十百九十九、第七十百、第七十百一、第七十百二、第七十百三、第七十百四、第七十百五、第七十百六、第七十百七、第七十百八、第七十百九、第七十百十、第七十百十一、第七十百十二、第七十百十三、第七十百十四、第七十百十五、第七十百十六、第七十百十七、第七十百十八、第七十百十九、第七十百二十、第七十百二十一、第七十百二十二、第七十百二十三、第七十百二十四、第七十百二十五、第七十百二十六、第七十百二十七、第七十百二十八、第七十百二十九、第七十百三十、第七十百三十一、第七十百三十二、第七十百三十三、第七十百三十四、第七十百三十五、第七十百三十六、第七十百三十七、第七十百三十八、第七十百三十九、第七十百四十、第七十百四十一、第七十百四十二、第七十百四十三、第七十百四十四、第七十百四十五、第七十百四十六、第七十百四十七、第七十百四十八、第七十百四十九、第七十百五十、第七十百五十一、第七十百五十二、第七十百五十三、第七十百五十四、第七十百五十五、第七十百五十六、第七十百五十七、第七十百五十八、第七十百五十九、第七十百六十、第七十百六十一、第七十百六十二、第七十百六十三、第七十百六十四、第七十百六十五、第七十百六十六、第七十百六十七、第七十百六十八、第七十百六十九、第七十百七十、第七十百七十一、第七十百七十二、第七十百七十三、第七十百七十四、第七十百七十五、第七十百七十六、第七十百七十七、第七十百七十八、第七十百七十九、第七十百八十、第七十百八十一、第七十百八十二、第七十百八十三、第七十百八十四、第七十百八十五、第七十百八十六、第七十百八十七、第七十百八十八、第七十百八十九、第七十百九十、第七十百九十一、第七十百九十二、第七十百九十三、第七十百九十四、第七十百九十五、第七十百九十六、第七十百九十七、第七十百九十八、第七十百九十九、第八十百、第八十百一、第八十百二、第八十百三、第八十百四、第八十百五、第八十百六、第八十百七、第八十百八、第八十百九、第八十百十、第八十百十一、第八十百十二、第八十百十三、第八十百十四、第八十百十五、第八十百十六、第八十百十七、第八十百十八、第八十百十九、第八十百二十、第八十百二十一、第八十百二十二、第八十百二十三、第八十百二十四、第八十百二十五、第八十百二十六、第八十百二十七、第八十百二十八、第八十百二十九、第八十百三十、第八十百三十一、第八十百三十二、第八十百三十三、第八十百三十四、第八十百三十五、第八十百三十六、第八十百三十七、第八十百三十八、第八十百三十九、第八十百四十、第八十百四十一、第八十百四十二、第八十百四十三、第八十百四十四、第八十百四十五、第八十百四十六、第八十百四十七、第八十百四十八、第八十百四十九、第八十百五十、第八十百五十一、第八十百五十二、第八十百五十三、第八十百五十四、第八十百五十五、第八十百五十六、第八十百五十七、第八十百五十八、第八十百五十九、第八十百六十、第八十百六十一、第八十百六十二、第八十百六十三、第八十百六十四、第八十百六十五、第八十百六十六、第八十百六十七、第八十百六十八、第八十百六十九、第八十百七十、第八十百七十一、第八十百七十二、第八十百七十三、第八十百七十四、第八十百七十五、第八十百七十六、第八十百七十七、第八十百七十八、第八十百七十九、第八十百八十、第八十百八十一、第八十百八十二、第八十百八十三、第八十百八十四、第八十百八十五、第八十百八十六、第八十百八十七、第八十百八十八、第八十百八十九、第八十百九十、第八十百九十一、第八十百九十二、第八十百九十三、第八十百九十四、第八十百九十五、第八十百九十六、第八十百九十七、第八十百九十八、第八十百九十九、第九十百、第九十百一、第九十百二、第九十百三、第九十百四、第九十百五、第九十百六、第九十百七、第九十百八、第九十百九、第九十百十、第九十百十一、第九十百十二、第九十百十三、第九十百十四、第九十百十五、第九十百十六、第九十百十七、第九十百十八、第九十百十九、第九十百二十、第九十百二十一、第九十百二十二、第九十百二十三、第九十百二十四、第九十百二十五、第九十百二十六、第九十百二十七、第九十百二十八、第九十百二十九、第九十百三十、第九十百三十一、第九十百三十二、第九十百三十三、第九十百三十四、第九十百三十五、第九十百三十六、第九十百三十七、第九十百三十八、第九十百三十九、第九十百四十、第九十百四十一、第九十百四十二、第九十百四十三、第九十百四十四、第九十百四十五、第九十百四十六、第九十百四十七、第九十百四十八、第九十百四十九、第九十百五十、第九十百五十一、第九十百五十二、第九十百五十三、第九十百五十四、第九十百五十五、第九十百五十六、第九十百五十七、第九十百五十八、第九十百五十九、第九十百六十、第九十百六十一、第九十百六十二、第九十百六十三、第九十百六十四、第九十百六十五、第九十百六十六、第九十百六十七、第九十百六十八、第九十百六十九、第九十百七十、第九十百七十一、第九十百七十二、第九十百七十三、第九十百七十四、第九十百七十五、第九十百七十六、第九十百七十七、第九十百七十八、第九十百七十九、第九十百八十、第九十百八十一、第九十百八十二、第九十百八十三、第九十百八十四、第九十百八十五、第九十百八十六、第九十百八十七、第九十百八十八、第九十百八十九、第九十百九十、第九十百九十一、第九十百九十二、第九十百九十三、第九十百九十四、第九十百九十五、第九十百九十六、第九十百九十七、第九十百九十八、第九十百九十九、第百、第百一、第百二、第百三、第百四、第百五、第百六、第百七、第百八、第百九、第百十、第百十一、第百十二、第百十三、第百十四、第百十五、第百十六、第百十七、第百十八、第百十九、第百二十、第百二十一、第百二十二、第百二十三、第百二十四、第百二十五、第百二十六、第百二十七、第百二十八、第百二十九、第百三十、第百三十一、第百三十二、第百三十三、第百三十四、第百三十五、第百三十六、第百三十七、第百三十八、第百三十九、第百四十、第百四十一、第百四十二、第百四十三、第百四十四、第百四十五、第百四十六、第百四十七、第百四十八、第百四十九、第百五十、第百五十一、第百五十二、第百

不正規入國者へ！

密入國者は絶体絶命
思ひ切つて手續きせよ
届出期日は十二月廿七日まで

本年五月四日附の移民法及び八月廿日附同法施行細則の規定に依り伯國内に在住する外國人は總て十二月十八日頃から向ふ一ケ年間に警察へ登錄しなくてはならぬ事となり、又都會に在住する者はこの外に外國人用鑑識手帳を取得せねばならぬが、現在伯國内には正規の手續を踏まずに不正入國した者が相當あるので、先づこれ等の人のため十二月廿七日までに合法的な入國者としての手續をしてやる事となつた、邦人在住者で不正規入國した者はこの際合法的な入國者としての手續を取つて置く樣にしたいものである

不正規入國者の猶予期間は本月廿七日限りで各法律事務所や當該關係者は目下大あわてで右手續きを開始し、一方總領事館邊りにも頻々照會があるが、之は伯國當局が今回の移民法で外國人取締りを勵行することゝなり、その前驅として從來正規手續によらず入國した者をこの際合法北すと云ふ云はゞ深切な主旨から出たものと見られるが、先づ不正規入國者と云ふのは

一、無旅券入國者即ち密入國者

二、旅行客として又は一時商用の目的で入國し引續き滞在して居る者

三、一九三四年五月十六日の移民法發令以降農業者として正規に入國した者でも三年間の契約農年未滿で他に轉業した者

以上の三者であるが、之等に該當する向は早速法律事務所等に就いて届出手續きをせねばならぬが、某法律通の話によれば右に關し種々の疑點があるとして次の通り語つてゐる

一の無旅券入國者は脱船その他密入國者で之は文句なくこの際罪亡しの意味でも如何に費用かゝり手續き煩雑でも届出して之を攪會に曰く外國語教授

その居住權を正當化すべきは勿論のことだらう、二の旅行者として入國した者も一九二六年以前ならば大體當國の入國法にも入國者に對する鯰厳な法規はなかつたから多分今度の規定は適用されまいと思ふが念の爲め法律事務所に照會しとくがよい、何れにせよ一、二の場合は邦人中には割合少いから第三の場合は之に該當する者相當あらう、而して之は聖市商業會議所の照會に對し聯邦司法大臣の意見として始めて發表され關係方面特に之に該當する使用人を使つてゐる商社などでも周章て出したもの、司法大臣が發表した以上之もいはゆる不正規居住（但し農村に歸れば文句はない）としてこの際届出で合法化するより外はあるまい

虫のいゝ話

「國粋の嵐」に脅えた弱虫
支那へ行くから旅費賴む
總領事館へ歎願書提出

謹啓　閣下益々御清榮の段奉賀候、降つて私等棉作に專心従事仕り居候、閣下も御承知の通り第二世の教育問題につき伯國は法規を以て停止相成り候に依つて我々父兄一同は落膽失望致し居り子弟の第二世は大和民族の精神を失ひ行くことは火を見るより明かに御座候局として現情に即應して適決心仕り候につき甚だ恐縮に御座候へ共渡支の手續を奉願上候

我々一同は目下財政困難に御座候へば支那行き旅費御下付方を御取計ひ下さるやう伏して懇願仕り候

右につき總領事館では再三總領事館、晋及會などから在留同胞に呼び掛けた通り、我當この時に際し我々は子孫子弟の將來を思ひ支那行きを宜に善處してゐる際、徒らに脅えるやうなことなく各自の職務に精勵して欲しい、如何なる困苦にも打勝つて立派に大成して行くのが眞の日本人であり折角雄志を抱いてブラジルに渡りながら中途で挫折するやうなことがあつてはなた

曰く外國語教授

曰く外國語教授、曰く何々と最近伯國内を吹き捲くる國粋化の嵐に脅え子弟教育の行末を案じて、ドラデンセ線イビチンガ驛ポルチンニャ耕地在住の後山源次（假名）外十五名の邦人家族が大擧支那に渡りたいと次のやうな歎願書を總領事館に差出した

「寫眞説明」

目下滞聖中の洪國卓球選手は昨日八日總領事館を訪問坂根總領事（中央）サスドス（右）ケレン（左）兩君と膝を交へて日本遠征話に話しをした

法窓閑話
婚姻無効の訴と理由（三）

判決は期限の起算點として、夫婦別居の日即ち一九三六年二月八日を以てする事を認めてゐる

不本意ながら、自分はこれを認める據り所がない

單なる事實上の考察が理由の乏しいものなる事を示してゐる、夫婦生活の七百十八日間（一九三四年二月二十日より一九三六年二月八日に至る）が、夫の缺陷を知るのに不足であると云ふ事はあり得ない、殊に女が同期限内に起つた、解剖學上處女性交の物質的痕跡を呈してゐた事（記錄第三十七枚目）を考慮する時然りである、殊に、判決は、最も有力な言葉、即ち女の言と矛盾してゐる點を强調しなければならない、女が

最初にこの缺陷を知つたと云つてゐるのに、それを知つた事は前記七百十八日の終であつたと云ふのを認める爲に、右の女の言葉に抗辯するのは至當ではないやうである

然し時効が否定されたとしても、まだ判決を肯定するわけにはいかない

本訴は理由あるものとして判決された、何故なら記錄第三十四枚目に、良人は長さ十六センチ、周圍十二センチの異常な陰莖を有すると云ふ、鑑定意見書を承認したからである

こゝに直ちに注意しなければならない事は、一體陰莖の受入れ得るものなる以上、周圍の如何と云ふ事は本件の場合には殆ど何等影響はないものであると云ふ事である

そこで長さの問題が殘る

此の點について、どの程度迄が通常であり、どの程度からが異常であるか、と云ふことを定めるのは困難である

然し被告の場合は之を異常のものであるとする、これを理由としてその缺陷は、民法が要求してゐる矯正し難きものであると云ひ得られるだらうか？

自分にはさうは思へない

性行爲のデリケートさが矯正し得なかつたとしても、注意工夫をすれば缺陷を矯め得るものである、從つて缺陷は矯正し難きものではない、法律上の規定から逸してゐる

かうした考査に對し、疑問以外他に正當に反駁論はなし得ないであらう、然し

疑問の場合

婚姻支持の爲に裁判しなければならないものである

結論として、自分は消滅時効期限は完成したものであると思ふ、そしてもし然らざれば、本件は理由無きものとして判決をなす爲、本判決は更正さるべきものであると思ふものである、

一九三八年十月二十二日サンパウロにて、判檢事總長代理アルヴアロ・デ・トーレード・バーロス」

認められたこの腕！
伯人とタイアップして
千田君映畫會社建設へ

在伯邦人の歴史も既に卅年、鉄を捨てた移民さんは商、工業始めあらゆる方面へノシてゐるが、これはまた珍らしく映畫方面に進出する一邦人がある……千田寫眞館主千田勝雄君は年來の目標であつた映畫方面への進出に一路邁進すべく今年頭初そのスタートを切つたが先般君の力作「カンポス・ド・ジョルドン」を州統領官邸で試寫して居並ぶ高官連を感嘆せしめたが、そのうちにあつた警察課長アマデウ・リベイラ氏の認むるところとなり、大々的に支援することを約したので早速拂下付方を御取計ひ下さるやう伏して懇願仕り候

民移り變風

蜂谷、遠征で大勝
練習不足で
サンタス球場開き

……自滅したサントス軍……

雨のために延び延びとなつてゐた新興サントス野球クラブ專屬球場のグラウンド開きは、久しぶりの快晴に惠まれて去る六日聖市より蜂谷商會野球チームを迎えて午後一時から華々しく開催された

近來頓に實力充實を見てゐる蜂谷チームに對しサントス軍は連日の雨のため練習不足でチームワークに缺け實力以下の戰ひをして結局十八對九で大敗を喫したが

この試合の目的たる球場開きゲームとしては充分期待に副ふ和氣藹々たる雰圍氣のうちに終始した交驩試合であつた

大向ふを唸らした
學生聯盟の演藝會

去る六日午後二時より大正小學校講堂で催された聖市學生聯盟主催の演藝會は好プログラムの編成に大きな興味を唆つた故かさしも廣い會場も埋め盡さる盛會であつた、各演技は夫々自信作であるだけにどれもユニュース映畫の作製に全力を注ぐべく、近日サンベントの寫眞部も引拂つて專心その道に精進すると

今度は
ドラゴンを招く

蜂谷チームとの一戰より得た第一回の經驗より割出した新たなる練習プランを完成したサントスクラブは愈々合理的な訓練にとり掛るべく首腦部の張切りぶりは物凄いものであるが

近日中に歸國する金田書記生の送別野球試合を行ふ外來る廿日午後聖市よりドラゴンチームを招聘して一戰を交へることになつた

ユアが大笑ふを嘆笑、據笑せしめ豫期以上の成果を收めた

最近學聯は外人間への割込みに懸命の努力を拂つてゐるが、その現れとしてこの日會場に詰掛けた人波の三分までは外人が占め興味深げに舞臺を凝視してゐた、殊に法大の日本語研究生二十名が熱心に實地に勉强してゐたのは注目を惹いた

（寫眞は勢揃した出演者）

亞國に遠慮してか
米伯：物々交換中止

間の取引なら兩者間に利益を齎す場合が多いから知れぬが一國の通商政策としては種々支障が伴ふことが多い、例へば今度の問題の如きも亞國は伯國輸入小麥大部分の支給國であるがいま米國が伯國珈琲と北米小麥とを交換するとになれば亞國は直接大きな打撃を受ける譯で、これは結局間接には北米の對亞貿易に影響して來ることになるとも亞國は伯國輸入小麥大出來であつたが、殊に拍手を浴びたのは金城イボネ孃のタップダンスや翁長君のヴァイオリンなど既に一家をなす堂々たるものであつた、最後を飾る劇「血は水よりも…」は平田君の素頓狂なヂエスチ

珈琲小麥との……

華府電報によると通般來紐育方面へ傳へられた伯國珈琲と北米小麥との交換の噂に就き米國農務省は右は單なる噂に過ぎぬ旨公表してゐる、なほ同問題に就き更に伯國珈琲と北米小麥との交換問題は色々檢討されてゐたのは事實だが、北米がかねる通商政策を採るのはハル國務長官の汎米互惠政策に反するため結局沙汰止みとなつたのである、伯國とつて珈琲は北米小麥などと交換するよりも自由に賣捌く方が利益であり交換取引では今後更に北米の伯國珈琲消費增加は望めまい北米も小麥の輸出は從來通りの方が有利なことは明である、右交換貿易も個人商人と述べてゐる

流線型

◇…米國全土には大小の飲屋が四十七萬三千軒、教會の數が二十四萬あ

◇…最近結成された東棉野球チームは明日午前スタンド球場で練習試合を行ひ、近々商實敵のブラスコットへ挑戰すると

◇…マリリア驛プリマベーラ大伯植民地在住者一同は軍用患者輸送擾獻納資金の一部へと二百ミルを本社へ寄託した

◇…聖州珈琲調節局では豫て同局倉庫被覆材料として輸入した一萬二千三百五十三個の鐵材紙稅免除方を出願中であつたが、聯邦大藏大臣は「まかりならぬ」旨發表した

◇…中矢、中山、內畠氏等の大公望連毎日サント・アマーロの魚征伐に余念ないが時局柄自動車に乘るのも物體ないと電車終點から瀾までビクを肩にテクつて自動車賃を節約百七十ミルを軍用患者輸送擾獻納資金として本社へ寄託した

◇…海興本社移民課長正木吉衛門氏は後進に道を開くため勇退、後任に神戸出張所長竹本武雄氏が就任した

◇…總領事館刊行のパンフレット「土地の購入と遺產相續」は現地からの配付請願殺到の有樣だが、時局多端の折柄、總領事館の事務輻輳、發送が幾分遲延するから悪しからずと、又部數に限りあり大口の申込みは多少削減するが、全般的に行亘つてなほ餘りがあれば追送すると

◇…伯、チエ兩國の貿易關係促進のため今度チエツコ政府は官營の貿易事務所を聖市バロン・デ・イタペチニンガ街一二〇番地に設けブラジルの物資をドシ〜本國に移出するんだと

◇…週刊ブラ拓から月刊に模樣替へしたブラ拓發行の「產業のブラジル」第一號が出來た、農ブなき後の農業指導雜誌として光つてゐる

◇…米國の挨拶をする

◇…ラスコット神崎支配人は來る十二日夜ホテル・テルミヌスへ樒花關係者を招待し

◇…ゴ…ヒ…ル…ス…ト…ア…ル…ト…ル…ス…ト…ア…ル…ト…ル…ス…ト…ア…ル…ト

NIPPAK SHIMBUN

Diario Nipponico de maior circulação no Brasil

Anno XXIII — São Paulo — 3a.-feira, 8 de Novembro de 1938 — Num. 1.552

NIPPAK SHIMBUN

PROPRIETARIO
SACK MIURA

DIRECTOR Masaaki Udihara — GERENTE Alfredo Takeuchi

Redacção — Administração e Officinas
Rua Maestro Cardim, 1109
Telephones: 7-3325 e 7-3326
Caixa Postal, 375
Endereço Telegraphico: "Nippak"
SUCC URSAL:
Rua Conde do Pinhal, 154
Telephone 2-3926
SÃO PAULO — Brasil

Assignaturas

PARA O BRASIL
Por anno ..... 30$000
Por semestre ..... 16$000
Numero avulso $500

PARA O EXTERIOR
Por anno ..... 100$000

Annuncios

Temos á disposição dos interessados uma labella completa de preços para annuncios nesta folha

Os bancos chinezes intimados a entregar as suas reservas de prata

Peiping, 5 — Todos os bancos chinezes que ainda operam no norte da China receberam do "Federal Reserve Bank of China" — instituto fundado pelos japonezes para a exploração economica da China, — instrucções para entregar com a maior urgencia possivel todas as suas reservas de prata em deposito nas concessões estrangeiras de Tien-Tsin.

O banco nipponico adverte em suas instrucções, que, caso ellas não sejam immediatamente cumpridas, as autoridades nipponicas cancellariam a moratoria que fora concedida áquelles bancos desde a occupação de Peiping, providencia que provocaria immediata corrida por parte dos credores e depositantes desses institutos de credito.

O projecto de reforma da organização Camara dos Representantes

Tokio, 4 - Domei — Realizou-se hoje ás 14 horas uma assembléa geral da commissão reorganizadora do systema actual da Camara dos Deputados. Na reunião em que tomaram parte todos os membros da commisssão e representantes do governo e que foi realizada na residencia official do primeiro ministro, principe Konoye, foi apresentado pelo presidente da commissão sr. Mizuno o projecto de reforma elaborado. Longas discussões foram feitas em torno do projecto apresentado, o qual, após pequena modificação foi aprovado unanimemente, devendo ser apresentado logo na proxima sessão da Dieta.

Tokio, 4 - Domei — As clausulas de reforma do systema de Camara dos Representantes hoje discutidas e aprovadas unanimemente são as seguintes:

1.° — Sobre as solemnidades para o funccionamento da Dieta: Collocação da arma nacional no frontispicio do parlamento; collocação da bandeira nacional no parlamento durante a epoca de seu funccionamento.

2.° — Sobre a época de abertura da Dieta: Diminuir de 40 para 20 dias o lapso de tempo que vae desde o dia da convocação para a Dieta até o dia da apresentação. Conservar sem alteração a epoca da terminação da Dieta e alterar para o dia 11 de Janeiro a epoca de reabertura.

3.° — Sobre a duração e epoca de discussão do projecto de orçamento nacional: Estabelecer uma epoca á parte para a discussão do projecto de orçamento sem se confundir com a epoca da Dieta.

4.° — Sobre o augmento da efficiencia das discussões da Camara dos Representantes: Quanto ás respostas do governo a serem dadas nas interpelações durante a reunião das diversas commissões, o governo estudar directamente os projectos a serem tratados. Quanto á duração dos discursos dos deputados, cada qual estudar o assumpto. Prohibir o quanto possivel a alteração nos membros das commissões. Prohibir que sejam membros da commissão pessoas que tem directamente relação de interesse com os projectos a serem tratados. As interpellações serão apresentadas na medida do possivel por um documento escripto.

O embaixador inglez conferenciará com o general Chang

Hong-Kong, 1 — (Domei) — Telegrammas hoje expedidos informam que o embaixador britannico junto ao governo chinez partiu com destino a Kiweiyang, capital da provincia de Kweichow.

Kiweiyang, 1 (Domei) Informa-se que o embaixador inglez dirigiu-se a uma localidade da provincia de Hunan afim de conferenciar-se com o general Chang-Kai-Chek.

Primeiro anniversario do pacto anti-Kuomintern

Roma. 5 — A Italia celebra o anniversario do pacto anti-Kuomintern, assignado em Roma, no dia 6 de Novembro de 1937.

"O espirito e a força desse pacto dominarão a união européa e mundial—afirmam os jornaes que vêm neste instrumento um meio para "a creação de uma ordem nova", lembrando que o pacto não tem objectivos offensivos, mas apenas defensivos, os jornaes salientam que tende a oppôr-se "a ingerencia atrevida" do Kuomintern em numerosos paizes, desde a Hespanha até a China.

O "Giornale d'Italia" acha que os resultados do pacto já se manifestaram, principalmente na atmosphera mundial que — affirmam — é hoje "mais serena e mais alliviada".

No Japão

Tokio, 5 — Amanhã será solemnemente commemorado o primeiro anniversario do pacto anti-Kuomintern, Milhares de pessoas desfilarão nas ruas de Tokio.

O Ministro da Guerra e o principe Kan-in, chefe do Estado Maior, general do Exercito, enviaram ao sr. Mussolini um telegramma agradecendo os seus esforços para a conclusão do pacto e os sentimentos manifestados pela Italia para com o Japão no decorrer do conflicto sino-japonez, e exprimindo a esperança de que se tornem ainda mais estreitos os laços que unem a Italia e o Japão.

O Japão não teme boycotagens

Tokio, 5 — O unico resultado das sancções contra o Japão seria o de galvanisar a opinião publica do paiz e de estreitar os laços politicos e economicos com a China. Tal é a affirmação corrente em circulos chegados ao Ministerio dos Negocios Estrangeiros a proposito do informações propaladas sobre a attitude eventual dos Estados Unidos, caso fosse julgada pouco satisfactoria a resposta nipponica á nota americana relativa á manutenção do principio da "porta aberta" na China.

Os circulos autorizados nipponicos fazem resaltar que o Japão está animado pela vontade de não abandonar os fructos de conquistas pagas caramente no continente asiatico e de reforçar a sua situação no Extremo Oriente.

As espheras responsaveis accrescentam que o Japão supportará do modo mais decidido a "boycotagem", embora não official, qualquer que seja a forma de que se revista: reducção das importações japonezas, recusa de concessão de creditos e embargo de exportação para os portos nipponicos de determinados productos como o ferro cobre e estanho.

Informações da mesma fonte annunciam que as ricas jazidas de ferro do valle do Yangtsé estarão em condições de fornecer minerio dentro de seis mezes, e que as regiões conquistadas contêm 8% da producção mundial de manganez e antimonio.

Os observadores technicos accentuam por fim que a balança commercial nippo-americana é largamente favoravel aos Estados Unidos, de sorte que as represalias por parte do governo de Tokio deixariam de trazer prejuizo ao commercio nipponico ao passo que affectaria seriamente, os interesses dos exportadores americanos.

O Mandchukuo que uma professora yankee viu

De uma região barbara, para uma terra de civilização adiantada

Florestas virgens

A parte do Mandchukuo por onde percorremos era constituida em grande parte por planaltos cultivados. Mas, no nordeste do paiz se encontram ainda hoje explendidas florestas virgens, ricas em pinheiros brancos e vermelhos, laricos, nogueiras, vidoeiros, olmos, etc. A exploração de taes fontes de riqueza está por questão de tempo, segundo ao que nos foi informado, pois, o governo está com planos feitos para encurtar a distancia por meio de caminho de ferro e estradas de rodagem que serão muito breve construidos, ligando-as aos grandes centros.

Cidades civilizadas

Surprehendeu-me immensamente ao deparar-me com ruas bem calçadas e edificios modernos, na parte nova de cada cidade por onde passamos. Era uma pura verdade, a surpreza que nos causou a troca inesperada operada quando da parte velha da capital mandchú passamos para a parte nova da mesma cidade. O desenvolvimento da nova cidade é deveras phantastico. Modernos parques, bons edificios de governo, bancos, companhias e outros, ao lado de largas ruas. Não sei como é que o novo Imperio poude fazer tanto em pról do desenvolvimento da sua capital, quando a sua fundação data de cinco ou seis annos. Com o incremento de sua área, que será fatal, pois, o seu progresso não pára nem dia nem noite, a cidade de Hsinking está fadada a ser uma das cidades mais bellas do mundo.

Concluindo, a illustre educadora yankee externou a sua viva admiração pelo futuro que estaria reservado á grande nação asiatica, nascida sob estrellas tão promissoras, reconhecendo, finalmente, que o Nippon não poderia ter feito uma obra mais dignificante do que a que o levou a auxiliar uma industria tão proveitosa: A pacificação do Extremo Oriente e a felicidade da raça asiatica, tão opprimida até aqui pelos occidentaes e mesmo pelos maos dirigentes chinezes, excepção feita, naturalmente, do Nippon, verdadeira nação leader da Asia Oriental.

(*Fim*)

Construcção de uma grande usina para a extracção de oleo combustivel

Hsinking, 1 (Domei) — O governo de Mandchukuo, baseando no seu plano quinquennal, esteve proseguindo os estudos fundamentaes, no sentido de fundar uma grande usina para extracção de oleo combustivel da hulha.

Tendo, emfim, concluido estes estudos, o referido governo iniciou as negociações com a Companhia Carbonifera Mandchuriana para começar immediatamente as obras constructoras das usinas de Kichirin.

Os pontos principaes do plano da fundação são os seguintes:

1.°) A Companhia terá como capital inicial 80 milhões de yens. Desta quantia 10 mil yens será contribuição directa do governo mandchú; 300 mil yens da Industria Nitro-chimica Coreana e 70 milhões de yens pela Companhia Carbonifera Mandchuriana.

2.° Será construida uma usina em Kichirin, cuja obra architectonica será concluida em 1943, juntamente com as obras constructoras da usina electrica de Skankwakiang.

3.°) A installação de apparelhos e a technica industrial serão dirigidas pelos technicos da Companhia Nitro-chimica Coreana.

4°) A capacidade productiva será de 300 mil toneladas annual e como materia prima será usada a hulha de Furasho.

【17】

捕虜が入口の門の木に四人縛られて繋がれて居る。いづれも正規兵で、どれも慓悍で頑丈な體格である。日本の兵隊が周囲に集つて、中に少し支那語を操るのが居て、色々と話しかけ大聲で笑ったり、又、煙草に火をつけて捕虜に銜へさせてやつたりして居る何時でもさう感じるのだが、私が、支那の兵隊や土民を見て、變な氣の起るのは、彼等があまりにも日本人に似て居るといふことだ。しかも彼等の中に我々の友人の顔を見出すことは決して稀ではないのだ。それは、實際、あまり似過ぎてゐるので困るほどである。これは詰らない感傷に過ぎぬかも知れぬが、これは、大きな意味で、我々と彼等とは同文同種であるとか、同じ血を受けた亞細亞民族であるとかいふやうな、廣遠な思想とは全く離れて、眼前に仇敵として殺戮し合つて居る敵の兵隊が、どうも我々とよく似て居て、隣人のやうな感がある、といふことは、一寸脈な氣持である。それは勿論充分憎むべき理由があると思ひながら、この困つたやうな脈な氣持を私は常に味はつて來たのである。私は先日王西庄で綿々たる戀文を懷中して居つたAによく似た雷國東を思ひ出し、既に死を觀念して居るこの四人の捕虜を長く見てゐる氣がしなかつた。

高橋少佐と中山參謀とが新聞記者を集めて戰況の話をしてゐる。先頭部隊は相當敵と衝突してゐるらしい。百善でも激戰をしたといふ。それから話は、松澤參謀の事になり常に、松澤參謀が沈着豪膽で積極的に任務を遂行する人であり、先般も傳騎三名を連れて韓村集に先行したことや、尖兵の先に出て行つて自ら敵狀の搜索に當り、少し前から連絡の切れてゐた松山部隊を發見したことや、その他の話が出て、上海事變の時もさう思つたし、あれは實に名參謀だよ、と、常日頃、私が名參謀と觀じてゐる中山參謀が云つた。韓村集に先行した時、前方に敵兵が一人居たのが、此方から近づいて行くと、雜嚢から一個の手榴彈を出して發火させた。此方に投げるものと思つてゐると、それは胸に抱いて彼は地面に伏せ、轟然たる音響とともに自ら爆死した。駄目だと觀念してしまつた。駄目だと思ひ、えらいものだと思つた。前進して行くうちに、曇つて居た空は次第に晴れて來て、朧月がぼんやりした顏を見せ、尙も、進んで行くと次第に月ははつきりした面貌を表はして、皎皎たる月明となつた。滿月である。月光の中を何處まで續いた部隊が、何處までも續いて進軍して行く。勿體ない話だが、私達は風呂敷が重くて仕方がないので、途中で半分にしてしまつた。午前二時過ぎ、堅固な城壁に圍まれた灌溪口に到着。夜目でよくはわからないが、瓦の屋根のある家のある一寸した町である。城壁も二重になつてゐる。最初の城門を入ると、狹い家並の左側にトラックや自動車がずらんで居る。軍報道部の旗らしいのがあるので、近よつて見ると、ちやんと先に自動車は來て居て、覗くと、運轉手臺に西君が毛布を被つて、ぐうぐう寢て居る。起すと、やあ、今來たかと得意さうに、ええもんあるで、といふので、後を見ると石油罐の中に山盛りに卵が入つて居た。

灌溪口を奪取した前衛部隊の兵隊が附近の家の中に火を焚いて食事をして三時にはもう出發しなくてはならぬといふ。灌溪口には前日迄中央軍の大部隊が居たらしいのに、先遣部隊が到着した頃には殆ど敵兵の若干名を認めたに過ぎなかつたさうである。狹い家の中に、暑いので裸になつた兵隊が大勢入りこみ、火の赤い明りの中に、まつ黑に燒けた身體や顏をてらてらと汗で光らせ、それが赤い火に照らされて居るのは、一種凄愴な眺めであつた。疲れて居るのは、一種凄愴な眺めであつた。疲れて居るのに、急いで食事をしてまた折り重なるやうにして腰を下し、或者は棒杭のやうに身體を投げだし、ふつふつと湯る飯盒を眺めながら、それでも、徐州へ徐州へと草木もなびく、徐州は居よいか住みよいか、などと冗談口を叩いて居る。後から來た部隊は前衛部隊が出發した後に、家の中に入るやうに命令された。御苦勞だな、しつかりやつてくれよ、と、管理部長の蓮花大佐が慌しい進發を準備してゐる兵隊達に云つて居る。日頃は非常に口喧しい人のやうに思はれた蓮花大佐のこの暖い言葉に私は涙にほろりとさせられ、私も心の中でさう云つた。

狹い夜の町の中で、間もなく、前衛部隊は隊伍を整へ、月光の城外へ進軍して行つた

アテリエル 千田 材料

日伯歯科醫院
Av. Rangel Pestana, 12-30, and. salas 304, 305, 306, 307
(Esquina do Largo da Sé)
一般歯科 レントゲン科 ジアテルミア科 口腔外科
歯科醫學士 村上眞市郎
同 高橋民傳
友人 日向越莊二郎
三宗二郎
義 諸菊二郎
三 田野二郎
長男 中島喜
二男 湯本彌吉
三男 柴山勘次郎
長女 藤原平
二女 森常光
三女 桑道廣司
妻 垣廣正義
夫 中村吾郎
兼 病氣療養中
の處藥石無効十月二十六日逐に
永眠仕り翌二十七日午後二時半
自宅出棺サンビセンテ共同墓地
へ埋葬仕候間諸此段謹告仕候
段生前辱知諸賢に御厚情を賜はり
へ謹告仕候
送葬に際し遠路御會葬被下尚又
用中に處し分の御香料花輪まで
一々參拜の段万謝奉しり候御禮
申上度名本意に御伺の上御禮
雜中之存じ午略儀も以て
紙上御禮申上候
十月二十八日

日野正春
長男 正敏
長女 嘉子
親族 木村善造
宮川爲治
幸崎建一
友人 菅原重登
清水富光
豐楠發揚
太郎良
濟藤田元三郎
三浦重二
小山太郎
伊原龜吉
尾虎雄
冲周一郎
竹本波平
岡專太郎
林駿野
坂艶三
石茂雄
半川根光
中谷重太郎
野塚貞吉
本本村村秀行
阪本通江
森川鎭雄

十一月六日 マリ、ア市

荊妻トメ儀豫て病氣療養中の處去る十一月四日午前一時永眠致し
ました。翌五日午前十時自宅出棺マリ、ア共同墓地に埋葬仕候
この段辱知諸賢に御通知申上候併せて病中御見舞を受け又生前
御交情を賜はり友人知己諸賢に厚く御禮申上候
追而五日午前十時葬送に際しては遠路態々御會葬被下尚又御香料花輪まで賜
り有難く厚く御禮申上候
一々拜趨御禮申上可きも乍略儀紙上を以つて御挨拶申可候

十一月六日 マリ、ア市

校長日野トメ先生病氣にて御養生中の處餘病併發遂に去る十一月四日午前一時
半永眠されました。翌五日午前十時出棺マリ、ア共同墓地に埋葬致しました。
御通知申上ます先生の御病中遠路態々御見舞を賜はりし
受け又葬送の節は御多忙中上過分の御香料花輪まで賜はり
御厚志有難く厚く御禮申上ます
一々參上致しまして御禮申述べる筈で有ますが混雜に取りまぎれ略儀ながら紙
上を以て御挨拶申上ます

十一月六日 マリ、ア市

在學生一同
卒業生一同
マリ、ア裁縫女學校

バナナ、
ジュキヤ特產
バナナ、ナニカ其他
果物一切
聖市バロン・デ・ヴブラット街三六七
花城果物商會
(野菜市場裏門前)